

V 資 料

1. 土木学会役員一覧

本会の歴代会長および各支部の歴代支部長・幹事長については前にも記したが、本項では昭和40年以降の役員名を記す。なお、昭和39年以前の役員は前に刊行した40・50周年略史に記されているのでここでは省略する。()内は任期中途にて交代した役員。

1.1 本部役員

昭和40年度

会 長	岡 部 三 郎									
副 会 長	山 内 一 郎	大 石 勇	水 野 高 明							
専 務 理 事	羽 田 巖									
理 事	伊 藤 直 行	森 垣 常 夫	久 保 慶 三 郎	鏡 禮 司	松 尾 新 一 郎	板 倉 忠 三				
	町 田 利 武	多 谷 虎 男	富 所 強 哉	佐 藤 友 光	春 日 屋 伸 昌	耳 野 慎				
	斉 藤 義 治	篠 原 登 美 雄	藤 田 博 愛	渡 辺 時 哉	成 岡 昌 夫	近 藤 市 三 郎				
	八 木 健 二	安 宅 勝	友 田 清 三	青 木 康 夫	内 林 達 一	村 上 正				
	宇 野 周 三									
監 事	井 関 正 雄	武 内 修								
評 議 員	北 海 道 地 区	岡 田 光 夫	城 塚 孝 雄	本 間 四 郎	町 田 利 武	北 郷 繁				
		富 銀 清 一	柳 沢 四 郎							
	東 北 地 区	(河 上 房 義)	(渋 谷 克 己)	(原 田 千 三)	平 手 久 之 助	森 沢 勇				
		矢 崎 道 美	小 山 和 雄	松 本 順 一 郎						
	関 東 地 区	安 藤 道 夫	秋 永 規 輔	有 江 義 晴	粟 津 清 藏	五十嵐 信 一				
		上 野 実 昭	内 田 寿 雄	内 田 弘 四	小 田 仁	大 島 秀 信				
		岡 安 司 人	奥 村 武 正	鹿 島 邦 夫	角 坂 仁 忠	神 谷 洋				
		川 手 良 親	川 野 博 司	河 野 康 雄	久 野 悟 郎	小 林 元 暲				
		小 松 原 豊	坂 野 重 信	堺 毅	鈴 木 忠 義	関 慎 吾				
		高 久 近 信	高 橋 浩 二	豊 田 栄 一	西 嶋 国 造	長 谷 川 亘				
		前 田 幸 雄	松 本 有	三 村 誠 三	水 谷 諭 吉	宮 脇 潤				
		村 幸 雄	村 上 博 智	村 田 二 郎	森 茂 正	松 本 茂 男				
	中 部 地 区	細 井 正 延	角 田 敏 雄	谷 重 幸	小 栗 良 知	角 田 修				
		小 野 一 郎	西 畑 勇 夫	伊 藤 純 三	山 本 有 三	鹿 島 健 次				
		川 村 正 三	永 谷 謙 二	長 坂 一 彦						
	関 西 地 区	小 林 嘉 道	巽 巖	三 宅 静 太 郎	岡 田 清	柿 德 市				
		村 瀬 清	赤 尾 親 助	天 野 毅 彦	石 田 聖	伊 藤 富 雄				
		岡 崎 忠 一	倉 田 宗 章	小 林 利 春	坂 田 中	清 水 清 三				
		玉 井 正 彰	丹 羽 義 次	別 所 正 夫	松 尾 新 一 郎	宮 崎 茂 一				
		宮 田 裕								
	中 四 地 区	大 塚 全 一	西 村 敏 男	里 村 正 勝	村 田 清 逸	小 沢 章 三				
	西 部 地 区	内 田 一 郎	武 田 武 男	浦 川 一 郎	樽 井 常 忠	伊 藤 甫				
		久 富 一 之	上 野 山 和 男							

昭和41年度

会 長 篠 原 武 司

	村上省一	望月邦天	山川尚典	山本将雄	横田周平
	渡辺隆				
中部地区	細井正延	増田重臣	山本有三	片岡勲二郎	打田富雄
	伊藤武男	小野一良	永田修三	松田良昌	吉村六夫
	杉山孝雄	長坂一彦			
関西地区	明石外世樹	河村重俊	小西一郎	島山実	畑中元弘
	深井浩三	三野定	宮崎虎太郎	赤野豊	今川正彦
	岩垣雄一	上田明夫	川島普	合田健	小松定夫
	調強	神生秋夫	田杉進一	中平一夫	北条武徳
	川瀬貞	宮崎茂一			
中四地区	小林元彦	柴田篤成	田辺義亮	山下嘉治	星治雄
	坂田静雄				
西部地区	山崎徳也	有田達	樽井常忠	伊藤甫	久富一之
	長谷川盛一	里村正勝			

昭和43年度

会 長	石原 藤次郎				
副 会 長	仁杉 巖	尾之内 由紀夫	松見三郎	国分正胤	
専務理事	羽田 巖				
理 事	高橋国一郎	高橋浩二	石橋多聞	安藤道夫	小川博三
	岩崎敏夫	井田至春	高石康	大地羊三	川崎敏視
	大久保喜市	石井興良	土方大武	市原松平	福山真三郎
	倉田宗章	伊藤富雄	渡辺豊	村田清逸	篠原謹爾
監 事	小池 誉	大橋健一			
評 議 員	北海道地区	尾崎晃一	高瀬正	前口正蔵	伊藤健二
		當銀清一			
	東北地区	諏訪真雄	戸津光也	平手久之助	松本順一郎
		吉田栄延			
	関東地区	五十嵐正武	伊丹康夫	伊藤道天	市田洋
		浮穴和俊	小栗良知	大串満馬	奥村敏恵
		樺島正二	川崎精一	川嶋賢一	木内政鋭
		北山昇	小林正宏	佐用泰司	重野仔
		鈴秀昭	関正好	高橋敦夫	高橋国一郎
		内藤幸徳	西川喬	橋本敏雄	早川精
		平岡治郎	平嶋政治	前島健雄	松垣光
		耳野慎隆	村上省一	諸岡辰雄	山門明雄
		渡辺隆			
	中部地区	細井正延	増田重臣	山本有三	片岡勲二郎
		伊藤武男	佐藤健吉	永田修三	打田富雄
		杉山孝雄	長坂一彦		
	関西地区	赤野豊	今川正彦	岩垣雄一	上田明
		合田健	小松定夫	調強	神生秋夫
		中平一夫	北条武徳	三瀬貞	伊藤富雄
		栗栖義明	小林二郎	米谷栄二	谷本喜一
		増村啓一郎	水野福太郎	南俊次	
	中四地区	星治雄	山下嘉治	坂田静雄	神田精夫
		長谷川 亘			
	西部地区	椿 東一郎	飯田 繁	日向野良世	多田義雄
		長谷川盛一			

昭和44年度

会 長	柳 沢 米 吉				
副 会 長	長 浜 正 雄	尾之内 由紀夫	米 谷 栄 二	国 分 正 胤	

專務理事	羽田 巖	鈴木 秀昭	岡田 清	安藤 道夫	小川 博三	境 隆雄
理事	高橋 国一郎	木田 至春	木 清	藤 道夫	川 博三	比留間 隆雄
	後藤 幸正	井田 不二雄	鈴木 大	大 地 羊三	平 岡 治郎	南 俊次
	大久保 喜市	沢 中 茂	土 方 大	毛 利 正光	牧 野 文雄	川 崎 偉志夫
	倉田 宗章	田 中 健一	伊 藤 直 行	星 治 雄	内 田 一 郎	
監事	川瀬 正俊	大 橋 健一				
評議員	北海道地区	吉川 宥直	鷹田 吉憲	山岡 勲	尾崎 晃	高瀬 正
	東北地区	前口 正達	諏訪 貞雄	戸津 光也	高橋 博	松本 順一郎
	関東地区	梅原 正栄	石井 寛輔	市田 洋	今井 勇	巖 真 温
		安藤 正人	大 串 満馬	奥 村 敏恵	垣谷 正三	樺 島 正二
		浮穴 和一	川 嶋 賢一	木 内 政 鋭司	木 村 正男	北 山 田 隆夫
		小松原 豊操	後藤 善祐	佐 田 喜 好介	高 橋 芳 雄	竹 内 井 信一郎
		菅原 正之	西 野 祐治郎	田 浜 啓一郎	坂 浦 晃	水 田 充喜雄
		堀江 正二	前 田 賈 麟	増 村 啓一	三 浦 盛男	山 門 明雄
	中部地区	渡辺 忠雄	森 重 臣	諸 岡 辰 雄	八乙女 盛男	
		森島 宗太郎	増 田 重 臣	高 見 敬 一	片岡 勲二郎	建 部 恒 彦
		伊藤 武男	小 野 一 良	永 田 修 三	江 崎 健一郎	杉 山 孝 雄
		長坂 一彦				
	関西地区	伊藤 富雄	栗 栖 義 明	小 林 二 郎	米 谷 栄 二	谷 本 喜 一
		晶山 直隆	増 村 啓一郎	水 野 福太郎	南 俊 次	岡 田 清 茂
		川口 源九郎	児 玉 武 三	後 藤 尚 男	佐 藤 本 正二	瀬 松 本 正
		巖 継 男	戸 谷 松 司	野 瀬 正 珠 郎	橋 本 正 二	
	中四地区	三笠 正人	三 好 宗 逸	柳 野 珠 郎	田 辺 義 亮	南 一 良
		神田 精夫	銀 山 匡 助	長谷川 巨		
	西部地区	安山 信雄				
		椿 東一郎	飯 田 繁	山 本 念 雄	多 田 茂 雄	鳥 羽 秀 雄
		筒井 寅吉	武 田 武 男			

昭和45年度

会 長	大石 重成					
副 会 長	長浜 正雄	斉 藤 義 治	米 谷 栄 二	河 上 房 義		
專務理事	羽田 巖					
理 事	三浦 孝雄	石 上 立 夫	鈴木 秀昭	岡田 清	尾崎 晃	境 隆雄
	浅間 隆	後藤 幸正	吉川 秀夫	後藤 明治	井上 孝一	鈴木 篁雄
	平岡 治郎	末沢 不二雄	山本 有三	毛 利 正光	岩 垣 雄 一	牧 野 文雄
	南 俊次	田 中 茂	村 田 清 逸	星 治 雄	長谷川 盛一	内 田 一 郎
監 事	川瀬 正俊	柳 瀬 珠 郎				
評議員	北海道地区	吉川 宥直	関 好 正	宮 原 和 雄	北 郷 繁	鷹 田 吉 憲
	東北地区	山岡 原田 (梅角吉)	諏訪 貞雄	高橋 博	戸津 光也	松本 順一郎
	関東地区	安藤 正人	青山 一	栗 津 清 蔵	伊 能 忠 敏	石 井 寛 輔
		巖 真 温	上 山 惟 康	梅 木 一 郎	小 山 留 健	大 野 正 夫
		川上 賢司	河 嶋 祐 之	北 川 善 三	久 留 田 順	小 松 原 居 隆
		斉藤 正男	嶋 田 饒 造	鈴 木 善 三	戸 野 祐 治郎	鳥 馬 場 豊 彦
		永倉 建介	成 田 泰 造	西 田 正 之 信	平 井 信 一郎	平 野 和 男
		藤田 圭一	増 村 啓一郎	針 ヶ 谷 二 郎	村 田 幸 雄	森 麟

		八十島 義之助	柳 沢 四 郎	柳 田 真 司	吉 海 正	吉 村 恒
		渡 辺 忠 雄				
中 部 地 区		森 島 宗太郎	増 田 重 臣	高 見 敬 一	片 岡 勤二郎	建 部 恒 彦
		伊 藤 武 男	小 野 一 良	永 田 修 三	江 崎 健一郎	杉 山 孝 雄
		長 坂 一 彦				
関 西 地 区		岡 田 清	川 口 源九郎	児 玉 武 三	後 藤 向 男	佐 藤 康
		瀬 良 茂	戸 谷 松 司	野 瀬 正 儀	橋 本 正 二	松 本 正 夫
		三 笠 正 人	三 好 宗 逸	柳 瀬 珠 郎	石 橋 金 一 郎	近 藤 和 夫
		塘 恒 夫	西 村 昭	福 山 真 三 郎	丸 山 二 郎	水 野 俊 一
中 四 地 区		宮 崎 明 行	室 田 明 徹	山 川 尚 典		
		伊 藤 直 治	斉 藤 徹	田 辺 義 亮	南 一 良	安 山 信 雄
		山 下 嘉 治				
西 部 地 区		井 島 武 士	山 口 素 直 男	山 本 念 雄	原 田 修	鳥 羽 秀 雄
		筒 井 寅 吉	武 田 武 男			

昭和46年度

会 長	高 野 務					
副 会 長	石 川 豊	奥 村 敏 恵	篠 原 謹 爾	河 上 房 義		
専 務 理 事	下 村 肇					
理 事	三 浦 孝 雄	石 上 立 夫	小 山 内 了 介	岡 田 政 三	金 子 喜 太 郎	鈴 木 立 夫
	半 谷 哲 夫	尾 崎 良 晃	林 正 道	浅 間 隆 三	吉 川 秀 夫	後 藤 明 治
	井 上 孝 夫	竹 内 良 清	難 波 隼 象	山 本 有 三 逸	細 井 正 延	岩 垣 雄 一
	足 立 力	叶 田 周 平	後 藤 尚 男	村 田 清 逸	荒 木 謙 一	長 谷 川 盛 一
監 事	村 瀬 珠 郎	横 田 三 郎				
評 議 員	北 海 道 地 区	末 村 三 郎	岸 力	坂 口 武	関 好 正	宮 原 和 雄
	東 北 地 区	北 郷 修 雄	(高 橋 博)	戸 津 光 也	岡 本 孝 平	松 本 順 一 郎
	関 東 地 区	山 家 義 雄	粟 津 清 蔵	伊 能 忠 敏	石 川 武 雄	上 山 惟 康
		青 山 一 郎	小 野 匡 美	小 山 謙 三	大 野 正 夫	大 平 拓 也
		梅 木 一 司	川 浦 潔	川 上 賢 和	河 島 祐 之	北 川 治 光
		神 留 健 一	後 藤 居 積	佐 々 木 和 淳	嶋 倉 正 信	玉 野 島 昭 夫
		戸 田 順 一	馬 場 豊 彦	中 沢 泰 造	永 倉 針 夕 谷	成 久 田 安 夫
		成 田 和 男	藤 田 圭 一	林 泰 造	町 田 富 士 夫	村 山 幸 雄
		平 野 和 男	柳 沢 四 郎	柳 田 真 司	町 田 吉 海	吉 村 恒 彦
		八 十 島 義 之 助	渡 辺 健 一			
		吉 村 六 夫	吉 田 俊 弥	小 野 一 良	河 島 寛 夫	建 部 恒 彦
中 部 地 区		西 畑 勇 夫	吉 田 三 浦	小 塩 沢 君 男	河 池 上 雅 夫	杉 山 孝 雄
		本 多 博 彦				
		長 坂 一 彦				
関 西 地 区		石 橋 金 一 郎	近 藤 和 夫	塘 恒 夫	西 村 昭	福 山 真 三 郎
		丸 山 二 郎	水 野 俊 一	室 田 明	飯 塚 敏 夫	打 田 富 雄
		加 納 次 郎	木 村 保 茂	後 藤 向 男	調 強 彦	竹 元 千 多 留 市
		多 田 英 親	田 中 茂 夫	長 尾 義 三	永 田 安 彦	藤 田 政 市
中 四 地 区		三 瀬 貞 行	芳 内 俊 夫	米 沢 博		
		伊 藤 直 治	斉 藤 徹	今 井 勇	久 保 田 敬 一	柴 田 秀 雄
		山 下 嘉 治				
西 部 地 区		青 木 謙 三	井 島 武 士	大 城 金 夫	田 中 稔	田 原 隆
		原 田 修				

昭和47年度

会 長	岡 本 舜 三					
副 会 長	石 川 豊	坂 野 重 信	篠 原 謹 爾	横 道 英 雄		

専務理事	下村 肇	市田 洋	福岡正巳	小山内了介	岡田政三	金子喜太郎
理事	三浦孝雄	市田洋	福岡正巳	小山内了介	岡田政三	金子喜太郎
	鈴木立夫	半谷哲夫	林波集	松本順一郎	浅間正延	大塚長吉
	平嶋政治	竹叶清	難藤尚男	米田辺義亮	荒木謙一	尾田喜市
	足立力	奥田教朝				
監事	渡辺 豊	伊藤裕武	城塚孝雄	小野 中	末村三郎	岸 力
評議員	北海道地区	坂口 武				
	東北地区	岡本孝平	佐藤源蔵	山家義雄	金原弘康	土肥春夫
	関東地区	飯塚敏夫	石川武拓	今井田宏	遠藤篤一	小笠原浦潔
		小野匡吉	大木内政	岡本静幸	神野悟郎	久保慶三郎
		川島健司	後藤野治	佐々木和彦	久野浦弘	高野寛英
		久高橋三男	玉野恒信	梅野康昭	奈良部俊重	中沢行吉
		小林正寿	針ヶ谷清士	久宮本俊	平尾重信	畑田富士夫
		松本健夫	三渡辺俊	大浜文彦	河島寛男	山口良雄
	中部地区	西畑勇平	吉三浦坂一	木村孝男	河平	山口良雄
		太田山富雄	加納次郎	木村保茂	後藤尚男	調永田安彦
	関西地区	打田元政	多田英貞	田内俊亨	長尾沢恒夫	大石右敬
		藤田弘一	栗林春日			柴田秀雄
		藤田正茂	柳瀬珠郎			
	中四地区	山崎博三	久我金夫	今井 稔	久保田敬一	柴田秀雄
		熊崎謙三	大城金夫	田中 稔	田原 隆	原田 修
	西部地区	青木直樹	佐々木直樹			

昭和48年度

会 長	飯田 房太郎					
副会長	内田 隆滋	坂野 重信	荒木 謙一	横道 英雄		
専務理事	下村 肇					
理事	三浦孝雄	市田洋	福岡正巳	石上立夫	戸田守二	水越達雄
	赤野 豊	市田洋	福岡正巳	石上立夫	戸田守二	水越達雄
	平嶋政治	大久保喜市	岩出進明	米田啓一	足立昭平	大塚長吉
	佐藤康夫	近藤清一	室田 明	田辺義亮	吉田喜市	橋本東一郎
監事	渡辺 豊	佐藤清一	能町純雄	角田和夫	城塚孝雄	水沢和久
評議員	北海道地区	(末山(開佐井	佐藤源蔵	角田和夫	城塚孝雄	水沢和久
	東北地区	安恒夫	天遠藤一	飯島 寿	飯塚敏夫	今井 勤
	関東地区	植月吉男	遠藤内政	小笠原弘	岡田悟郎	片山慶三郎
		川島健司	木野治光	岸本静幸	久野悟郎	高野寛英
		久高橋三男	玉野功吉	杉浦弘雄	中野三男	長野恒信
		南平信信	野口 功	畑井健一郎	林 正夫	針ヶ谷 助
		松本輝寿	広川清士	堀宮本俊	堀口 孝	前山本 稔
		渡辺時男	渡辺三千雄	渡辺 光	山 口 柏	山 本 稔

中部地区	山内利彦 太田録平 水野忠	喜内敏 三浦侃	大浜文彦 木村幸男	小林浩二 平野和男	山口良雄 多田尚夫
関西地区	大石右正 藤田正和 小林正宏 浜野春雄 渡辺啓祐	久保弘一 柳瀬珠郎 竹内良夫 松尾新一郎	栗林春日子 岩垣雄一 中埜肇 松梨順三郎	榎木亨俊 奥村威俊 那智俊雄 宫内宏	長島敬夫 河盛季夫 袴田恒夫 室田明
中四地区	岡崎忠郎 最上幸夫	熊崎博 山高茂	後藤嘉晃	鈴紀喜久	田中敏仁
西部地区	青木謙三 佐々木直樹	古川昌喜 沼田實	梅野倫之	田原英二	和田善吉

昭和49年度

会長	齋山養雄	丸安隆和	高橋国一郎	荒木謙一	渡辺新三
副会長	水越達雄				
専務理事	下村肇				
理事	飯塚敏夫 北郷繁 江島淳 近藤和夫	友原賢介 林正道 大久保喜市 前田幸雄	小松原豊 佐武正雄 岩出進 鈴紀喜久	戸田守二 富士野昭典 足立昭平 沢村武助	赤野豊春 南部繁春 丹羽義次 椿東一郎
監事	佐藤清一	菅原照雄	城塚孝雄	川名信	山田照一
評議員	北海道地区 東北地区 関東地区	角田和夫 佐藤源蔵 土肥春夫 安芸周一 石川武雄 大池晟也 解良知己 田原隆 中野三男 堀井健一郎 水野正信 渡辺時男	佐藤信三 安芸恒夫 植月躋 片山彬 佐々木和彦 高橋基次 野口功 堀口孝男 百島祐信 渡辺三千雄	持田三郎 天羽一夫 梅原達朗 川浦潔 田島二郎 建部恒彦 広川楡吉 前田慶之助 山崎広宣	山家義雄 伊藤圭典 遠藤正一 菊池昭人 田中道人 玉野治光 深沢義郎 町田美治 山本稔
中部地区	山内利彦 中村良次 水野忠	喜内敏 片山英吉	吉田俊弥 原田修	小林浩二 森寿郎	山口良雄 多田尚夫
関西地区	岩垣雄一 袴田恒夫 室田明 菅原操 谷田次正治	奥村威俊 浜野春雄 渡辺啓祐 竹中準之介	河盛孝夫 松尾新一郎 大石右正 寺田久弥	中埜肇 松梨順三郎 北村正也 南俊次	那智俊雄 宫内宏 末石富太郎 原口好郎
中四地区	岡崎忠郎 最上幸夫	網干寿夫 渡辺政男	佐藤嘉晃	田辺義亮	田中敏仁
西部地区	青木謙三 佐々木直樹	市原誠夫 吉村虎蔵	梅野倫之	田原英二	和田善吉

1.2 支部役員

1) 北海道支部役員

昭和40年度

支部長 (高中 瀨村 正)

商議員	相川実 小山道義 小本間四郎 板倉忠三 三上健三	伊福部宗夫 佐久間純一 前口郷繁 北柳沢四郎 中田正	沖垣皓 坂口武 町田利 (篠原良 古安井寛 男一治)	岡田光夫 城塚孝敏 宮永信和 鎌谷和夫	神田雄次 高三義清 三浦銀清	角田和夫 中村謙克 沢田嘉嘉 馬場
監査幹事	小野修 本間四郎 荒川利輝 林信雄	木村収一 山方彦	戸巻昭三 山根達矣	外崎忍夫 大沢幹夫	土岐祥介 村田郁夫	能勢之次 加来照俊

昭和41年度

支部長	遊佐志治磨					
商議員	林正道 能町純雄 本間四郎 中村謙平 高木陽一 林正道 飯塚稔香 藤岡義信	小川博道 倉橋力雄 相川実義 小前正蔵 小野修	小野早苗 森田義夫 伊福部宗亮 米田利武	古泉栄一 柳沢垣皓 沖坂永敏	佐久間純一 渡田光孝 岡塚浦義彦	津田賢次 横道英直 長谷川瀬正
監査幹事	飯塚義雄 藤岡信雄	伊藤哲郎 星川信夫	加藤銳一 若月政実	稼農知徳 荒川利輝	近藤倣郎 大沢幹夫	藤井卓照 加来照俊

昭和42年度

支部長	黒地政美					
商議員	小川正道 林宗夫 伊福部一郎 田中浩三 古谷陽一 高木健二 伊藤銳一 加藤島廣 野村靖	小野早苗 倉橋光夫 岡田清正 當前敬三 音羽敬三	古泉栄一 森田卓健 紙谷清隆 伊田清隆	佐久間純一 佐渡博隆 栗林末健 伊藤健二	津田賢次 重松芳典 小寺沼二	能町純雄 横道英直 重松川亘
監査幹事	伊藤銳一 加藤島廣 野村靖	黒藤井憲次	近藤倣郎 伊藤哲郎	荒川利輝 藤井卓	板倉忠興 藤岡義香	稼農知徳 星川信喜

昭和43年度

支部長	大橋康次					
商議員	石井郁夫 中崎昭一 柳川憲寿 當銀清一 倉橋努 前口正蔵 井上豪彦 関口光治 中村靖	尾崎和太 中村健二 伊藤健敬 伊藤敬三 音羽敬三	小田嶋政次 長谷川宗夫 伊福部末治 長田治	小川博三 前口正蔵 岡田光典 岡沼博雄 (長倉沼橋)	重松芳典 重松竹浩 (小古竹谷)	高瀬正造 森田健一郎 和田清隆
監査幹事	井上豪彦 関口光治 中村靖	伊井忠夫 星川信紀 野島廣	井藤昭夫 細川秀人	岡崎悠吾 柳川捷夫	岡添保輝 荒川利輝	角田与史 板倉忠興

昭和44年度

支部長	板倉忠三					
商議員	伊福部宗夫 鈴木四郎 村田郁夫 小田嶋政次 長谷川守	伊藤健二 藤田吉勝 森川博三 小前正蔵	加藤市郎 竹内康和 山岡勲治 重松芳朗	吉川宥直 中田隆正 境高森	菅古石中 原谷井崎 敏浩郁正 夫三夫一 夫三夫一 夫三夫一	杉村尾中 中田村 一田和 彦忠晃 和太吉

監査幹事	山岡	野上	耕豪	二彦	倉高	橋梨	努岩	明男	井藤	昭信	夫喜	岡崎	悠吾	吾永	庄司	生幸	藤田	陸博
幹事	井角	上田	史与	彦雄	高佐	林高	芳岩	明男	井星	藤川	昭信	夫喜	岡崎	悠吾	庄司	生幸	藤田	陸博
	高谷	弘				伯	浩		牧	野成			西	部	桜	田充	本	也

昭和45年度

支部長	吉川	宥直																
商議員	岡田	光夫	(植和)	田月	正(躰)	小野	修	相川	實	尾崎	晃	松本	憲司					
	音羽	敬三	北郷	正志	繁	伊福	宗夫	小嶋	政次	遠藤	武郎	関菅	原敏					
	宮原	和一	鈴木	四郎	天	瀧田	吉勝	伊藤	藤内	加中	市正	林	正					
	杉村	中一	村田	郁夫		森		(竹末)	健康	境	隆							
	大間	春彦	山野	耕二				山	三									
監査幹事	大宮	原和																
幹事	荒川	利輝																
	桜田	充郎																
	藤田	睦博																

昭和46年度

支部長	横道	英雄																
商議員	森田	健造	佐藤	十五郎		園原	俊幹	上戸	斌司	栗原	隆道	戸村	俊夫					
	佐藤	琢美	岸	弘力		和坂	善武	小田	代光	林田	正志	伊藤	健修					
	末村	三實	尾崎	晃		松本	憲司	岡田	光三	浜田	正志	小野	野中					
	相川	實次	遠藤	佐武		関	好正	音原	敬和	北	郷	繁						
	小田嶋	政次	大間	春彦				宮										
監事	山野	耕二																
幹事	岸	力																
	長内	戦治																
	片岡	富義																
	勝俣	征也																

昭和47年度

支部長	本間	四郎																
商議員	岡田	光夫	横道	英雄		高木	陽一	小池	竜夫	和田	正志	菅原	照雄					
	市瀬	勲	松田	良昌		木村	収一	中村	作太郎	小浜	実	笠原	勝二郎					
	伊藤	裕司	塚孝	雄隆		小野	中	森田	健造	佐藤	十五郎	園原	俊幹					
	上戸	弘	栗林	正道		戸村	俊天	佐藤	琢美	森	弘	坂口	善吉					
	小田代	一	林	耕二		伊藤	健二	末	村三	岸	力	坂	武					
監査幹事	田中	一	山野	耕二														
幹事	水沢	和久																
	(長吉)	雅弘	戸島	英之		室田	保男	久保	宏	尾崎	初郎	川口	孝太郎					
	山根	達美	畑山	利之		片岡	富義	三上	和男	石黒	三郎	大友	勲					
	浅沼	勝利	三田地	利之		荒川	利輝	本	多	勝俣	征也	奥村	勲					
	橋本	識秀	久保	欽														

昭和48年度

支部長	市瀬	勲																
商議員	村木	義男	馬場	嘉郎		岩本	省吾	佐々	武基	小寺	一	花見	浩二					
	小野	中(郎)	佐久間	純一		田中	敦幸	木谷	清夫	林	道英	国本	康夫					
	(末山)	三(照)	能町	純正		角菅	和照	岡田	光昌	横	道英	高木	陽一					
	小山	夫(実)	(和吉)	正光		伊藤	裕	松	孝	木	村	中	作太郎					
	小浜	夫	笠	勝二				城		水	沢	久						
	佐藤	幸男	田中	一														
監査幹事	角田	和夫																

幹事長	(藤安) 村直 達	松田義久	松本順一郎	松本正雄	森沢勇	森垣常夫
幹事	横井幸雄	木村喜代治	日下司忠	倉西茂	国安公夫	駒林伝
	今井川孝記	正雄	庄園義	志賀郎	(誠猪) 安訪貞輔	津田二
	寺阪正臣	野正吉	中園明	浪越勇	田洩和	平山定
顧問	堀上房義	(薬吉) 袋越三	(安斉) 原隆三	山井弥之助	樋浦大三	宮本保

昭和43年度

支部長	(重兼) 賜一	岩崎敏夫	(池原) 武一郎	岡本孝平	大宮利左門	大塚清重
商議員	豊田野博源	(加藤) 藤八州大	梅黒清富	後藤幸亮	後藤誠	林谷虎男
	佐藤高沼	(立藤) 松田保光	清水富松	村川貞昌	藤野沢玉	中村垣常夫
	安井田至春	横手久実	吉田栄延	(中平) 皆	(森小) 野沢	森中
幹事長	井幸雄	岩佐正章	猪股賢輔	伊藤春雄	小野川繁澄	木村喜代治
幹事	今日下宣郎	倉西開勝	佐田湖山	津田正臣	佐々木誠一郎	斎藤政孝
	志賀敏行	新越勇	平山定雄	堀	寺宮	山中口
顧問	吉越房義	照井隆三	原田干三	平井弥之助	宮本保	

昭和44年度

支部長	(豊田) 栄一	梅原達朗	大宮利左門	(黒瀨) 剛	後藤幸彦	後藤壮介
商議員	井谷隆	(渡辺) 本手橋	清水根沢	本訪川野保	立安小中	戸横佐中
	林田幸敏	(高岡) 本村田昌	影多瀨山	(川神) 土吉	野中	藤村武三郎
	西野田隆江	阿部泰夫	岩崎寛勝	岩佐新成	猪股賢輔	伊藤春雄
幹事長	(井田) 秋澄	木村政直	岩日志中	佐藤開敏	佐川本山	藤武田正
幹事	浅野川誠一郎	寺坂勇	山本井	宮本保	宮本保	堀
顧問	河上房義	原田干三	平			

昭和45年度

支部長	神谷洋	(梅河) 達朗	大宮利左門	岡本是公	菊地新吉	岸本静幸
商議員	浅藤幸博	(原西) 藤田根	林津戸保田野	本村崎田藤桑	地訪本谷本	(立大) 松友川田
	高安小中	(富寺) 山佐中	(横井) 神玉西	岩中岩高平佐若	松岡多山	(大智) 角影土吉
	新野上田	阿部泰夫	稻垣実	(岩林) 智	岩佐新	猪股賢輔
幹事長	浅田秋江	木川繁澄	喜代治	岩下賀	岩佐新	佐藤政
幹事	伊藤武	(佐杉) 木本	(齊志) 伯	岩下賀	岩佐新	佐藤政

津田二郎	(寺殿)	阪名川	勝郎	中村	直忠	衛直	(中福)	園原	義元	孝次	成和	敏田	行助	(平島)	山居	定良	雄明
堀上房	原田	田干	勇三	(山吉)	村井	弥之助	山宮	本本	次民	樹保	和田	德之助					

昭和46年度

支部長	神谷洋																		
商議員	淺間隆	(井鈴)	田木	至幹	春雄	大宮	利左	門幸	(岡立)	本藤	是幸	孝貴	大友	光壯	雄介	河駒	西林	清伝	
	角田修	土肥	地春	新敏	雄夫	(岸三)	野本	久平	後戸	部津	光孝	也平	友村	政尚	勝男	安村	玉沢	彬蔵	
	(桜市)	根源	崎信	谷虎	三男	野本	上本	龍一	岡齊	本藤	孝俊	彦亮	(工藤)	藤井	浩芳	(小金)	諏訪	蔵良	
	山佐	藤源	藤谷	順一郎	真	坂石	橋本	金一郎	新山	家義	義	亮雄	西吉	田榮	等延	林若	桑	基四郎	
	高佐	田新一	多松	武田		(山志)	本伯	軍伊											
監査役	中村武三	阿部	泰喜	夫治		稲垣	実勝	岩佐	正敦	幸久	章司	猪股	賢輔	伊藤	藤武	春正	夫雄		
幹事長	淺間隆	木志	賀居	川川	干三	日新	勝文	佐藤	幸敏	司行	行孝	佐川	善知	伊佐	武本	元次	成幹		
幹事	淺田秋	志賀	島川	干三		新伊	茂真	本吉	敏忠	行孝	保	千和	徳之助	弦福	原	元次	成幹		
	(志小)	津堀	宮原			(山益)	弥之助	成吉	忠	保		(林上)		福					
顧問	河上房	原田				平		宮				和		原					

昭和47年度

支部長	多谷虎男																		
商議員	(淺野)	立野	肥春	本孝	常一	岡津	舟常	田延	中武	松本	順一郎								
	富野	昭	春雄	津常	延	吉田	田新一	武三	松本	順一郎									
	土肥	昭	本孝	津常	延	田新一	武三	松本	順一郎										
	岡津	昭	舟常	田延	武三	松本	順一郎												
	吉田	昭	田新一	武三	松本	順一郎													
監査役	中村武三	園部	正勝	男勝	行助	干三													
幹事長	淺田秋	日新	成和	田干															
幹事	木村喜	賀宣	元次	之義															
	福原	益子	房																
顧問	河上房	原田																	

昭和48年度

支部長	(鈴西)	木田	秀正	昭之															
商議員	富士野	立部	肥春	本孝	常一	岡津	田延	武三	松本	順一郎									
	野野	昭	春雄	津常	延	田新一	武三	松本	順一郎										
	立部	昭	本孝	津常	延	田新一	武三	松本	順一郎										
	(岡谷)	多吉	田新一	武三	松本	順一郎													
	多吉	田新一	武三	松本	順一郎														
監査役	武藤	園部	正勝	男勝	行助	干三													
幹事長	(藤峯)	日新	成和	田干															
幹事	淺田	賀宣	元次	之義															
	木村	益子	房																
顧問	河上房	原田																	

志福益佐々河	賀原元次郎	宣元次郎	郎之倫義	沼成和鈴原	田成和鈴原	正敏徳之庄干	志行助二三	弦宮野平	本坂地井	成節達弥之助	幹雄也	鈴木地本	鈴木地本	富正孝新保	美輔臣夫一	蝦宮中	名川渴	晃秀雄	郎勇雄	伊吉細加	藤村田藤	文忠八春	雄彦衛男
昭 和 4 9 年 度																							
支 部 長	(井 上 孝)	上 間 金 一 郎	孝 隆	岩 崎 敏 夫	崎 藤 敏 夫	敏 敦 久 亮	夫 久 亮	(井 今 佐)	上 井 藤 西 山	久 清 信 三 之 郎	平 彦 三 之 郎	井 上 茂 也	上 伯 伊 織 人 夫 蔵	坂 本 龍 雄	本 訪 津 常 一 延	龍 貞 常 栄	雄 一 延	雄 一 延	(齊 重 鈴 木 水 永 桑)	藤 松 木 田 水 永 桑	俊 重 新	彦 治 貫 一 郎	博 納
商 議 員	石 橋 源 一 郎	佐 藤 虎 男	多 本 順 一 郎	後 藤 幸 憲 孝 昭	尾 坂 芳 夫	後 藤 壯 介	寺 福 貞 真	金 原 武 肥 原	佐 武 原	佐 武 原	佐 武 原	須 本 幸 敏 真	須 本 幸 敏 真	須 本 幸 敏 真	須 本 幸 敏 真	須 本 幸 敏 真	須 本 幸 敏 真	須 本 幸 敏 真	須 本 幸 敏 真	須 本 幸 敏 真	須 本 幸 敏 真	須 本 幸 敏 真	須 本 幸 敏 真
監 査 役	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎	中 村 武 三 郎
幹 事 長	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典	富 士 野 昭 典
幹 事	淺 蝦 佐 園 沼 三 河	田 名 川 部 田 浦 上	秋 晃 孝 正 昌 尚	江 郎 記 男 志 向	伊 加 木 田 渡 原	藤 藤 義 孝 直	文 春 義 夫 之 淳	雄 倫 夫 之 淳	伊 河 志 松 細	藤 島 賀 本 村 田	春 宣 成 八	夫 恒 郎 幹 明 衛	上 須 本 幸 敏 真	上 須 本 幸 敏 真	上 須 本 幸 敏 真	上 須 本 幸 敏 真	上 須 本 幸 敏 真	上 須 本 幸 敏 真	上 須 本 幸 敏 真	上 須 本 幸 敏 真	上 須 本 幸 敏 真	上 須 本 幸 敏 真	上 須 本 幸 敏 真
昭 和 4 0 年 度																							
支 部 長	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三
商 議 員	安 川 西 水 界	藤 崎 嶋 越 達	道 夫 志 夫 造 雄 毅	秋 川 西 田 八 十 島	永 規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助
幹 事 長	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三
幹 事	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐
昭 和 4 1 年 度																							
支 部 長	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三
商 議 員	秋 内 岡 川 小 西 村 界	永 田 安 瀨 池 沢 上 博	規 弘 司 正 俊 治 智 毅	有 生 奥 川 界 西 村 田	江 出 村 手 界 西 嶋 村 田	義 久 武 良 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎
幹 事 長	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐
幹 事	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐

3) 関東支部役員

昭和40年度

支 部 長	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三
商 議 員	安 川 西 水 界	藤 崎 嶋 越 達	道 夫 志 夫 造 雄 毅	秋 川 西 田 八 十 島	永 規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助	規 親 作 義 之 助
幹 事 長	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三	石 井 鈴 二 三
幹 事	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐

昭和41年度

支 部 長	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三	當 山 道 三
商 議 員	秋 内 岡 川 小 西 村 界	永 田 安 瀨 池 沢 上 博	規 弘 司 正 俊 治 智 毅	有 生 奥 川 界 西 嶋 村 田	江 出 村 手 界 西 嶋 村 田	義 久 武 良 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎	晴 也 正 親 毅 造 郎
幹 事 長	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐
幹 事	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐	石 井 佐

顧	問	戸三飯羽	谷宅田	是政房太郎	公光太郎	二階堂吉石	堂田川	宏巖六郎	番渡清水	二辺水雄	郎健吉	水田立	正信次	男夫郎	福田名須川	豊秀二	松本西	成厚	男
---	---	------	-----	-------	------	-------	-----	------	------	------	-----	-----	-----	-----	-------	-----	-----	----	---

昭和42年度

支	部	長	松井達夫	井永規輔	達久也	夫規俊	正也	武昭治	伊丹康夫	丹地羊三	康博次	伊藤道夫	藤部達	道達	石川吉弥	川村武正	吉武正	弥正宏	小栗良知	栗沢良	良一	知							
商	議	員	秋生川	永瀬保	久正正	規正	也俊	昭治	大久保	岡寛	喜太郎	伊大君	丹地島	康博好	三正男	伊岡小	藤部池	道国一	夫治郎	石奥小	川林橋	吉正裕	弥正治	小栗内	栗沢幸	良藤和	知穂男		
幹	事	長	今井勇	飯田豊	田博美	典	豊	石原篤	上前行	前秀夫	行孝	城所宏	所末敏	宏治	久保良	保村博	良博	太達	佐藤秀一	藤川惠	秀之助	一	佐	藤	秀	一	之		
顧	問	西松醇厚	飯田房太郎	中尾豊	福田房太郎	飯田房太郎	飯田房太郎	石川六郎	三階堂清水	三階堂清水	三階堂清水	立花次郎	立花次郎	立花次郎	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道

昭和43年度

支	部	長	松井達夫	井永規輔	達久也	夫規俊	正也	武昭治	伊丹康夫	丹地羊三	康博次	伊藤道夫	藤部達	道達	今井勇	井島正宏	島正宏	正宏	俊夫	浮穴和俊	穴崎和	崎用泰	用泰	泰	一	俊			
商	議	員	小川重竹	粟野内	良賢仔	知一	知一	昭治	大串内	串内	満政隆	伊奥木	藤村秀	道敏三	市垣北	田谷山	洋道昇	洋道昇	洋道昇	今井小	井島高	島高	正高	正高	正高	正高	正高		
幹	事	長	今井勇	飯田豊	田博美	典	豊	石原篤	上前行	前秀夫	行孝	城所宏	所末敏	宏治	佐藤秀一	藤村博	村博	博	一達	真高水	田橋正	橋正	正	正	正	正	正		
顧	問	西松醇厚	飯田房太郎	中尾豊	福田房太郎	飯田房太郎	飯田房太郎	石川六郎	三階堂清水	三階堂清水	三階堂清水	立花次郎	立花次郎	立花次郎	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道

昭和44年度

支	部	長	小安垣北菅	林藤谷	元正道	椽人	石井寛	井島善	輔二	市川後	田崎明	洋一	今井賢	井嶋用	真木内	真木内	温政	温政	温政	浮木島	穴村田	和三	和三	和三	和三	和三	和三		
商	議	員	菅原野村	藤谷山	正道	椽人	石井寛	井島善	輔二	市川後	田崎明	洋一	今井賢	井嶋用	真木内	真木内	温政	温政	温政	浮木島	穴村田	和三	和三	和三	和三	和三	和三	和三	
幹	事	長	八乙女	林藤谷	元正道	椽人	石井寛	井島善	輔二	市川後	田崎明	洋一	今井賢	井嶋用	真木内	真木内	温政	温政	温政	浮木島	穴村田	和三	和三	和三	和三	和三	和三	和三	
顧	問	西松醇厚	飯田房太郎	中尾豊	福田房太郎	飯田房太郎	飯田房太郎	石川六郎	三階堂清水	三階堂清水	三階堂清水	立花次郎	立花次郎	立花次郎	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道	當山道

昭和45年度

支部長	水越達雄	青山一	粟津清藏	伊能忠敏	石川武雄	石井寛輔	巖真温
商議員	安藤正人	山木健司	小松原隆介	大野正男	大平留健	井上賢祐	河島善三
	上山川義男	梅久鳥	小永林村	野藤田	久留居	田井正信	鈴木野和
	北川順一	久鳥	永倉泰二	成針谷	鳥林町	西井平	西野和
	戸馬場圭一	浜増村	林田吉	針谷山	吉村	森渡	八十島
	藤柳沢四郎	柳田真司	村吉	村幸恒			
幹事	佐藤友光	市川秀	小栗良二	伊能忠敏	石川武雄	石井寛輔	巖真温
幹事	井畔瑞人	近藤博敏	清水中前	大野正男	大平留健	井上賢祐	河島善三
	小林由行	千藤高良	中前	野藤田	久留居	田井正信	鈴木野和
	高田杉一	藤横石	小林元	成針谷	鳥林町	森渡	八十島
	深横飯名	横石西	林田	針谷山	吉村		
顧問	須川秀二	西松厚	羽田	村幸恒			

昭和46年度

支部長	水越達雄	栗津清藏	伊能忠敏	石川武雄	石井寛輔	梅木一郎
商議員	青山匡美	小山島治	大野正男	大平留健	井上賢祐	川浦和彦
	小野賢司	河野光	北川順一	久留居	田井正信	永倉安夫
	嶋祐之昭	成田圭一	戸馬増吉	鳥林町	吉村	八十島
	成野和男	藤田真司	増村海	針谷山	森渡	
	平野四郎	柳田	吉	村幸恒		
幹事	佐藤友光	市川秀	石崎英男	伊能忠敏	石川武雄	石井寛輔
幹事	井畔瑞人	近藤博敏	清水中前	大野正男	大平留健	井上賢祐
	小林由行	千藤高良	中前	野藤田	久留居	田井正信
	高田杉一	藤横石	小林元	成針谷	鳥林町	森渡
	深横飯名	横石西	林田	針谷山	吉村	
顧問	須川秀二	西松厚	羽田	村幸恒		

昭和47年度

支部長	水越達雄	石川武雄	今井勤一	遠藤篤康	小笠原弘	小野匡美
商議員	飯塚敏夫	岡田悟郎	神山保三	川浦健治	川島吉男	木内和彦
	大平幸弘	久野寛三	久高長久	久野島	後藤野雲	佐々木部
	岸本浦	高野三	野恒安	玉成平	南町渡	畑本輝光
	杉沢正夫	中針谷	山口柏	成尾村	渡	松本
	林三宅清光	宮本俊	山	吉		渡
幹事	(佐藤友光)	井上章平	伊加藤	石崎英男	石井寛輔	石井寛輔
幹事	阿部基由	岡本平	加藤水	川浦健治	井上賢祐	川浦和彦
	清水川誠	末林内	鈴木山	久野島	田井正信	永倉安夫
	西森飯	箭川六	山口林	成針谷	鳥林町	八十島
顧問	常山道三	石須川秀	西	村幸恒		

	門脇慶太郎 佐久間啓 田湖寿郎 大林勇治	永谷讓二 田中栄 花井又太郎 中谷茂一	水野忠 松本金吾 松見三郎	長坂一彦 杉戸清 井上幸太郎	市田洋 前田一三	小坂弘 石田二郎
--	-------------------------------	------------------------------	---------------------	----------------------	-------------	-------------

昭和41年度

支部長	榎修仁					
商議員	清水誠一 片山忠夫 四野宮哲 高橋克男 白善武 水野太 永谷讓二 上条俊一郎 夏目正太郎 浅野利明 速水経啓 佐久間寿郎 田湖勇治 大林	寺西弘治 永田安彦 渡辺所多喜次 松久勉 渡辺清則	本間章造 栗田亀勇夫 西畑原建一 菅原大橋理三	八乙女盛男 荒井利一郎 尾形原磐 松原岩明 伊藤純三	桑山三郎 小野良三 藤本有龍 土方大時	和田良雄 和吉重元 谷松村 中村
幹事長	永谷讓二					
幹事	上条俊一郎 夏目正太郎 浅野利明 速水経啓 佐久間寿郎 田湖勇治 大林	松並仁茂 藤田房雄 成岡昌夫 竹下真雄 神谷守彦 田口又太郎 花井茂一	青木文夫 得能正侃 三浦崎義春 清水野一雄 松本金吾 松見三郎	吉海正彦 山内利市 阪牧唯馨 天野一彦 長坂立力 足立清 杉戸上幸太郎	市原慎也 富永正俊 高見敬一 平松實 加藤	横田修二 喜内義雄 竹上周次 沢田弘 小坂
顧問	田湖寿郎 大林					

昭和42年度

支部長	渡部時也					
商議員	黒田良雄 和田俊弥 吉谷重幸 谷下元三 (松祖父江大徳彦) 伊藤徳太郎 奥村徳太郎 上条俊一郎 竹花友司 夏目正太郎 林博道 田村真啓 佐久間寿郎 田湖勇治 大林	尾崎重雄 片山忠夫 四野宮哲 高橋克男 白善武 中村	谷垣登志郎 永田安彦 渡辺所多喜次 真鍋明夫 水野太賀	本間章造 栗田亀勇夫 西畑原義信 (菅原平渡)	八乙女盛男 荒井利一郎 米田啓磐 松原健理 大山	桑山三郎 小野良三 藤本有龍 金岩純 伊藤
幹事長	奥村徳太郎					
幹事	上条俊一郎 竹花友司 夏目正太郎 林博道 田村真啓 佐久間寿郎 田湖勇治 大林	松並仁茂 藤田昭平 足立真雄 杉山孝夫 小池武夫 花井又太郎 中谷茂一	青木文夫 得能正侃 三浦崎義春 水野一雄 関本金吾 松見三郎	森内利彦 山牧唯馨 斉藤坂一 鈴木四清 鈴戸上幸太郎	室賀共彦 大浜敬一 高倉實 加藤	横田修二 喜内義雄 竹上文 大野文 片野
顧問	田湖寿郎 大林					

昭和43年度

支部長	佐々木正久 (長岡和四野宮)						
商議員	木康良 尾岡川哲 本内弘 堀上義 竹田茂 黒志草	伊藤文夫 青木新三 森中徳 伊藤	谷垣登志郎 (田森西深片早大)	登志郎光隆 畑勇義 沢平川柿	(本遠栗米佐金高杉)	横田修二 小野良三 影村徳太郎	片山忠夫 吉谷重元 祖父江武夫 川本
幹事長	黒志草						
幹事	黒志草	小沢栄 藤田房雄 足立昭平	畑黒三 行英 浦	森内利彦 山牧唯馨	渡辺孝彦 大浜敬一	小林博憲 喜内敏明	

顧	問	林 博 田 真 佐久間 壽 田 瀨 勇 大 林 治	(村 伊 杉 瀨 小 池 花 井 中 谷 茂 一	藤 信 義 瀨 重 雄 江 道 夫 池 武 太 井 又 郎 谷 茂 一	清 崎 義 春 謙 訪 利 夫 関 本 一 金 松 見 三 郎	齊 藤 黨 長 坂 一 鈴 木 四 鈴 戸 幸 杉 上 太 井 上 郎	藤 倉 黨 坂 一 彦 木 四 郎 戸 幸 太 上 太 郎	藤 倉 晴 一 加 藤 一 實 前 田 一 三 榎 田 修 仁	大 沢 勲 片 野 文 石 田 二 渡 部 時	遠 藤 正 一 山 本 有 三 米 田 啓 一 望 月 迪 夫 川 村 武 夫
---	---	---------------------------------------	---	--	--	--	---	--	----------------------------------	---

昭和44年度

支 部 長	商 議 員	谷 重 幸 片 岡 勘 二 郎 清 水 保 良 小 野 一 良 高 見 敬 一 牧 野 義 男 佐 藤 康 治 伊 藤 得 男 萩 原 兼 脩 竹 花 友 志 草 田 良 輔 広 江 道 雄 杉 池 武 夫 小 田 湖 壽 郎 大 林 治 久 佐々木 正 久	永 井 淑 郎 山 田 利 広 吉 田 俊 弥 篠 原 良 男 森 井 口 明 小 沢 栄 郎 松 本 都 郎 足 立 昭 平 堀 江 篤 忠 水 野 一 雄 花 井 又 太 郎 中 谷 茂 一 松 本 文 彦	増 岡 康 治 小 川 一 郎 四 野 宮 哲 松 本 内 弘 堀 杉 山 孝 雄 小 林 郁 夫 黒 田 英 二 三 浦 浦 董 真 長 坂 一 勝 田 悦 之 松 本 見 三 郎	伊 藤 甫 夫 青 木 文 夫 渡 辺 野 武 從 野 橋 健 高 土 方 大 武 山 下 喜 澄 内 牧 唯 市 阪 望 月 久 實 加 藤 清 幸 杉 戸 上 太 郎	藤 倉 黨 坂 一 彦 木 四 郎 戸 幸 太 上 太 郎	片 山 直 梢 森 畑 勇 隆 西 畑 久 二 鶴 谷 野 武 佐 野 總 次 郎 奥 村 德 太 郎	遠 藤 正 一 山 本 有 三 米 田 啓 一 望 月 迪 夫 川 村 武 夫
幹 事 長	幹 事	伊 藤 得 男 萩 原 兼 脩 竹 花 友 志 草 田 良 輔 広 江 道 雄 杉 池 武 夫 小 田 湖 壽 郎 大 林 治 久 佐々木 正 久	小 沢 栄 郎 松 本 都 郎 足 立 昭 平 堀 江 篤 忠 水 野 一 雄 花 井 又 太 郎 中 谷 茂 一 松 本 文 彦	小 林 郁 夫 黒 田 英 二 三 浦 浦 董 真 長 坂 一 勝 田 悦 之 松 本 見 三 郎	山 下 喜 澄 内 牧 唯 市 阪 望 月 久 實 加 藤 清 幸 杉 戸 上 太 郎	藤 倉 黨 坂 一 彦 木 四 郎 戸 幸 太 上 太 郎	片 山 直 梢 森 畑 勇 隆 西 畑 久 二 鶴 谷 野 武 佐 野 總 次 郎 奥 村 德 太 郎	遠 藤 正 一 山 本 有 三 米 田 啓 一 望 月 迪 夫 川 村 武 夫
顧	問	片 岡 勘 二 郎 清 水 保 良 小 野 一 良 高 見 敬 一 牧 野 義 男 佐 藤 康 治 伊 藤 得 男 萩 原 兼 脩 竹 花 友 志 草 田 良 輔 広 江 道 雄 杉 池 武 夫 小 田 湖 壽 郎 大 林 治 久 佐々木 正 久	永 井 淑 郎 山 田 利 広 吉 田 俊 弥 篠 原 良 男 森 井 口 明 小 沢 栄 郎 松 本 都 郎 足 立 昭 平 堀 江 篤 忠 水 野 一 雄 花 井 又 太 郎 中 谷 茂 一 松 本 文 彦	増 岡 康 治 小 川 一 郎 四 野 宮 哲 松 本 内 弘 堀 杉 山 孝 雄 小 林 郁 夫 黒 田 英 二 三 浦 浦 董 真 長 坂 一 勝 田 悦 之 松 本 見 三 郎	伊 藤 甫 夫 青 木 文 夫 渡 辺 野 武 從 野 橋 健 高 土 方 大 武 山 下 喜 澄 内 牧 唯 市 阪 望 月 久 實 加 藤 清 幸 杉 戸 上 太 郎	藤 倉 黨 坂 一 彦 木 四 郎 戸 幸 太 上 太 郎	片 山 直 梢 森 畑 勇 隆 西 畑 久 二 鶴 谷 野 武 佐 野 總 次 郎 奥 村 德 太 郎	遠 藤 正 一 山 本 有 三 米 田 啓 一 望 月 迪 夫 川 村 武 夫

昭和45年度

支 部 長	商 議 員	谷 重 幸 片 岡 勘 二 郎 清 水 保 良 小 野 一 良 米 田 啓 一 望 月 迪 男 川 村 武 夫 伊 藤 得 男 萩 原 兼 脩 竹 花 友 志 草 田 良 輔 杉 江 道 雄 小 池 武 夫 小 田 湖 壽 郎 大 林 治 久 佐々木 正 久	永 井 淑 郎 山 田 利 広 落 合 圭 次 高 見 敬 一 牧 野 義 男 佐 藤 康 治	増 岡 康 治 小 川 一 郎 吉 田 俊 弥 篠 原 良 男 森 井 口 明 小 林 郁 夫 柳 井 彌 治 三 浦 浦 董 真 長 坂 一 勝 田 悦 之 松 本 見 三 郎	伊 藤 甫 夫 青 木 文 夫 四 野 宮 哲 松 本 内 弘 堀 杉 山 孝 雄 山 下 喜 澄 内 牧 唯 市 阪 望 月 久 實 加 藤 清 幸 杉 戸 上 太 郎	藤 倉 黨 坂 一 彦 木 四 郎 戸 幸 太 上 太 郎	片 山 直 梢 森 畑 勇 隆 渡 辺 野 武 從 野 橋 健 高 土 方 大 武	遠 藤 正 一 山 本 有 三 西 畑 久 二 鶴 谷 野 武 佐 野 總 次 郎 奥 村 德 太 郎
幹 事 長	幹 事	伊 藤 得 男 萩 原 兼 脩 竹 花 友 志 草 田 良 輔 杉 江 道 雄 小 池 武 夫 小 田 湖 壽 郎 大 林 治 久 佐々木 正 久	小 沢 栄 郎 松 本 都 郎 足 立 昭 平 堀 江 篤 忠 水 野 一 雄 花 井 又 太 郎 中 谷 茂 一 松 本 文 彦	小 林 郁 夫 柳 井 彌 治 三 浦 浦 董 真 長 坂 一 勝 田 悦 之 松 本 見 三 郎	山 下 喜 澄 内 牧 唯 市 阪 望 月 久 實 加 藤 清 幸 杉 戸 上 太 郎	藤 倉 黨 坂 一 彦 木 四 郎 戸 幸 太 上 太 郎	片 山 直 梢 森 畑 勇 隆 渡 辺 野 武 從 野 橋 健 高 土 方 大 武	遠 藤 正 一 山 本 有 三 西 畑 久 二 鶴 谷 野 武 佐 野 總 次 郎 奥 村 德 太 郎
顧	問	片 岡 勘 二 郎 清 水 保 良 小 野 一 良 高 見 敬 一 牧 野 義 男 佐 藤 康 治 伊 藤 得 男 萩 原 兼 脩 竹 花 友 志 草 田 良 輔 杉 江 道 雄 小 池 武 夫 小 田 湖 壽 郎 大 林 治 久 佐々木 正 久	永 井 淑 郎 山 田 利 広 落 合 圭 次 高 見 敬 一 牧 野 義 男 佐 藤 康 治	増 岡 康 治 小 川 一 郎 吉 田 俊 弥 篠 原 良 男 森 井 口 明 小 林 郁 夫 柳 井 彌 治 三 浦 浦 董 真 長 坂 一 勝 田 悦 之 松 本 見 三 郎	伊 藤 甫 夫 青 木 文 夫 四 野 宮 哲 松 本 内 弘 堀 杉 山 孝 雄 山 下 喜 澄 内 牧 唯 市 阪 望 月 久 實 加 藤 清 幸 杉 戸 上 太 郎	藤 倉 黨 坂 一 彦 木 四 郎 戸 幸 太 上 太 郎	片 山 直 梢 森 畑 勇 隆 渡 辺 野 武 從 野 橋 健 高 土 方 大 武	遠 藤 正 一 山 本 有 三 西 畑 久 二 鶴 谷 野 武 佐 野 總 次 郎 奥 村 德 太 郎

昭和46年度

支 部 長	商 議 員	片 山 直 梢 片 岡 勘 二 郎 (山 中 木 山 山 片 倉 高 渡 野 村 本 山 野 倉 橋 渡 利 孝 慎 有 英 武 秀 利 孝 慎 有 英 武 秀 明 建 豐	永 井 淑 郎 小 川 野 一 良 米 田 本 啓 一 山 本 谷 久 達 二 (鶴 丸 木 村 山 杉 幸 雄	大 島 哲 夫 長 谷 川 五 郎 吉 田 尾 武 喜 西 篠 原 良 男 篠 福 伊 藤 武 甫 丸 伊 藤 武 甫	橋 高 俊 二 大 西 信 太 郎 森 島 宗 太 郎 阪 牧 唯 圭 次 落 合 松 久 平 村 佐 野 總 次 郎 奥 村 德 太 郎	藤 倉 黨 坂 一 彦 木 四 郎 戸 幸 太 上 太 郎	遠 藤 正 一 秋 月 英 新 外 司 渡 辺 崎 野 宗 栄 武 山 崎 野 島 村 武 夫	清 水 保 郎 四 野 宮 哲 勇 夫 西 畑 久 二 男 一 夫 伊 藤 藤 田 照 雅 夫 山 池 上 藤 康 治 池 佐 藤 康 治
-------	-------	--	--	--	---	---	--	--

昭和49年度

支部長	八田晃夫	小林浩二	池田哲夫	原田修	伊藤典雄	(堀高)	正澄	臣清良
商議員	黒野孝行	小増重憲	田山利一	大西信久	藤原三平	木野三啓	正澄一啓	正澄一啓
	吉野武利	林田牧唯	山坂外司	西田新欽	松有英	小野三青	木野三青	木野三青
	高尾利保	増田清武	長崎野和	大渡山高	松有英	伊藤三青	伊藤三青	伊藤三青
	尾崎申次	赤川多博	平野佐忠	渡村高渡	藤原三平	伊藤三青	伊藤三青	伊藤三青
幹事	小林郁夫	野聖三	晃一弥	山福下	利雄	中河	西村	省三
幹事	土屋功一	高野聖三	晃一弥	山福下	利雄	中河	西村	省三
	古畑重昭	草間藤孝	井橋元友	福松吉河	田谷貞昭	野根堤大	河口本根	三好守仁
	齊藤順一郎	大佐久保	杉江務敏	関名前渡	田谷貞昭	野根堤大	河口本根	三好守仁
	片野彰	松本幸太郎	杉戸修勇	川田部	田谷貞昭	野根堤大	河口本根	三好守仁
顧問	花井三郎	井上幸太郎	杉戸修勇	川田部	田谷貞昭	野根堤大	河口本根	三好守仁
	谷重幸	井上幸太郎	杉戸修勇	川田部	田谷貞昭	野根堤大	河口本根	三好守仁

5) 関西支部役員

昭和40年度

支部長	玉井正彰	稲見健一郎	尾崎重雄	川北敬之	川島普功	金馬昭郎	馬戸昭敏	郎爾敏夫
商議員	芦田和男	寺田久弥	波田元一	西野泰正	野口光三	藤安岡	藤安岡	藤安岡
	高森幸二	三内正雅	村速綱	(毛瀬上太松佐花塔)	野口光三	安岡富寺山	安岡富寺山	安岡富寺山
	岩谷康吉	北川正明	川島直隆	敬泰正	野口光三	安岡富寺山	安岡富寺山	安岡富寺山
	紙中吉次	二宮善治	川島直隆	敬泰正	野口光三	安岡富寺山	安岡富寺山	安岡富寺山
監査委員	(毛瀬上松)	川島直隆	川島直隆	敬泰正	野口光三	安岡富寺山	安岡富寺山	安岡富寺山
幹事	赤野正一	新井敬造	池田久夫	稲田裕三	今村猛	上林達郎	上林達郎	上林達郎
幹事	遠藤正一	山田善一	川島直隆	稲田裕三	今村猛	上林達郎	上林達郎	上林達郎
	玉室明	山田善一	川島直隆	稲田裕三	今村猛	上林達郎	上林達郎	上林達郎

昭和41年度

支部長	小西一郎	安藤隆敏	岩北幸二	内田正人	遠藤正一	小笠原弘	原大久	弘久
商議員	天野光三	紙谷次喜	北中吉博	川宮正浩	佐野直樹	玉泉大	玉泉大	玉泉大
	岡本義三	塔下政英	中吉博	川宮正浩	佐野直樹	玉泉大	玉泉大	玉泉大
	寺本順平	山畑英博	(橋日林)	川宮正浩	佐野直樹	玉泉大	玉泉大	玉泉大
	長田政博	川畑英博	上林達郎	川宮正浩	佐野直樹	玉泉大	玉泉大	玉泉大
監査委員	絹川富雄	長田新平	上林達郎	川宮正浩	佐野直樹	玉泉大	玉泉大	玉泉大
幹事	伊藤野二	上田明夫	上林達郎	川宮正浩	佐野直樹	玉泉大	玉泉大	玉泉大
幹事	赤野林二	上田明夫	上林達郎	川宮正浩	佐野直樹	玉泉大	玉泉大	玉泉大

監査役	坂田静雄	田島秀郎	中村正	鈴木尙			
幹事長	坂田静雄	松村恭二					
幹事	長井健						
顧問	寺西靖治	福村慶則	古本麻生	木佐谷清	永田栄亮	森田博文	
	日野裕善	柿崎博雄	福田久				
	内林達一	加賀美一二三	星治雄	久保田敬一	網干寿夫		

7) 西部支部役員

昭和40年度

支部長	秋竹敏實						
商議員	佐田愿	海保久雄	秋竹敏實	七田茂	谷垣登志郎	小松公一	
	和田良雄	田島喜好	吉開正文	大村繁三郎	杉野慎吾	二ノ上哲雄	
	宇野周三	月本達彌	富田惠吉	前田正勝	中尾保勝	可児剛	
	村上正	藤芳義男	小林幸治	中田一幸			
幹事長	田原隆						
幹事	今山健	秋月義高	沼田淳	山本昌孝	下荒磯滋	徳光善治	
	安部重彦	建部恒彦	岸田収二	大石雅也	田町良夫	吉田健	
	沢村武助	青木謙三					

昭和41年度

支部長	七田茂						
商議員	佐田愿	海保久雄	神田九思男	七田茂	谷垣登志郎	小松公一	
	富所克巳	田島喜好	吉開正文	大村繁三郎	杉野慎吾	二ノ上哲雄	
	武田武男	月本達彌	富田惠吉	前田正勝	中尾保勝	柴田松壽	
	村上正	藤芳義男	彦坂良次	中田一幸			
監査	武田武男	柴田松壽					
幹事長	鬼塚正敏						
幹事	石松茂	山本昌孝	酒見尙雄	稀見俊明	沼田耕一	徳光善治	
	安部重彦	田村曄三	岸田収二	大石雅也	田町良夫	香月盛忠	
	沢村武助	青木謙三					

昭和42年度

支部長	川崎偉志夫						
商議員	海保久雄	神田九思男	吉開正文	平岡義高	小松公一	富所克巳	
	小山謙三	村崎明	高橋光	松本有雄	二ノ上哲雄	長谷川盛一	
	月本達彌	富田惠吉	前田正勝	香丸菊雄	柴田松壽	田中泰造	
	勝元元	村上正	藤芳義男	彦坂良次	佐田愿	川崎偉志夫	
監査	神田九思男	香丸菊雄					
幹事長	沼田耕一						
幹事	今中靖雄	松下幸正	栗谷陽一	青野満	磯俣敏行	岸田収二	
	沢村武助	田町良夫	田村曄三	茶屋浩夫	中本至	原田邦夫	
	福田伸男	松井寛人	三重野信義	村瀬次男			

昭和43年度

支部長	村上正						
商議員	尾崎重雄	渡辺豊	吉開正文	平岡義崇	小松公一	小原豊	
	小山謙三	小笠原二郎	山田利広	在塚宏	二ノ上哲雄	長谷川盛一	
	月本達彌	富田惠吉	前田正勝	香丸菊雄	柴田松壽	田中泰造	
	勝元元	村上正	藤芳義男	彦坂良次	佐田愿	川崎偉志夫	
監査	二ノ上哲雄	田中泰造					
幹事長	大音宗昭						
幹事	馬場敦次	小林清一	栗谷陽一	青野満	磯俣敏行	今中靖雄	
	岸田収二	沢村武助	茶屋浩夫	爪長徹	中本至	原田邦夫	
	原茂	松井寛人	三重野信義	山根武雄			

昭和44年度

支部長	長谷川 盛一											
商議員	尾崎重雄 山本省吾 月本達元 勝元	渡辺豊 小笠原二郎 富田恵吉 村上正雄 竹内季雄		吉開正文 山田利広 竹内季雄 藤芳義		信田正雄 在塚丸菊 香丸良次 彦坂		岡本是孝 二ノ上哲雄 柴田松壽 佐田恩		小原盛一 長谷川盛一 田中泰造 川崎偉志夫		
監査幹事	吉開正文 迫秋一 原欽五 鈴内洋 東保			青野満一 辻栄義 三重野信		磯俣敏行 爪長徹 永竜一郎		岸田収二 築城永		沢村武助 原茂恭		

昭和45年度

支部長	吉開正文											
商議員	尾崎重雄 山本省吾 本田富元 勝元	南部三郎 小笠原二郎 古賀公平 村上正元 勝元		吉開正文 雪竹秀季 竹内季虎 吉村威蔵		信田正雄 在塚丸菊 香丸良次 彦坂		渡辺保彦 二ノ上哲雄 柴田松壽 横田修二		小原良太 浅田中泰 川崎偉志夫		
監査幹事	尾崎重雄 小川博 小瀨久 熊野弘 辻栄一			青野満一 沢村武助 彦坂		磯俣敏行 鈴内克龍 永龍一郎		大塚照久 茶屋浩夫		岸田収二 築城永		

昭和46年度

支部長	川崎偉志夫											
商議員	山下博通 渡辺政男 本田富雄 勝元	南部三郎 日高又弘 古賀公平 樺東一郎 水室紳三郎		小笠原二郎 雪竹秀季 竹内季虎 吉村威蔵		信田正雄 島田隆夫 香丸良次 彦坂		渡辺保彦 二ノ上哲雄 水室紳三郎 横田修二		小原良太 浅田中泰 川崎偉志夫		
監査幹事	古賀公平 井哲朗 朝尾康雄 岸田収二 茶屋浩夫			井信義 迫秋一 原茂恭		磯俣敏行 沢村武助		大塚照久 鈴内克龍 洋		小川博武 栲木		

昭和47年度

支部長	内田一郎											
商議員	山下博通 渡辺政男 吉田喜市 水室紳三郎 乙藤憲一 直村徳三	南部三郎 日高又弘 直村中泰 田加藤乾 香丸菊雄		小笠原二郎 信田正富 本元雄元		小林博憲 島田隆夫 古賀公平 樺東一郎		筒井寅吉 芝田清虎 室村		佐藤茂次 広門丸良 香彦		
監査幹事	直村徳三 鈴内克龍 馬嶋幸次 大野栄			安部重彦 迫秋一 原茂恭		井哲朗 沢村武助		磯俣敏行 関一毅		大塚照久 栲木武		

昭和48年度

支部長	古賀公平											
商議員	山下博通 本多正徳 広門村	杉尾壽一 日高又弘 吉田喜市 本富雄		小笠原二郎 信田正富 香彦古		松里博一 安水乙室 水室藤屋		筒井寅吉 島田清虎 田中泰		佐藤茂次 芝田丸良 勝元		
監査幹事				安部重彦 迫秋一 原茂恭		井哲朗 沢村武助		磯俣敏行 関一毅		大塚照久 栲木武		

監 査	小笠原 二郎	室 屋 清 次								
幹 事 長	安 部 重 彦									
幹 事	上 田 克 巳 大 野 幸 男 中 野 健 次	築 城 永 喜 田 健 一 郎 松 下 幸 正	青 野 滿 迫 秋 一 原 茂 恭	磯 保 敏 行 沢 村 武 助 平 野 宗 夫	工 藤 繁 人 関 一 毅	大 塚 照 久 中 釜 栄				

昭和49年度

支 部 長	(松 尾 寿 一) 大 島 田 哲 男	大 島 哲 男	柴 田 秀 雄	三 安 露 敏 夫	荒 木 大 龍 夫	佐 藤 滿 雄
商 議 員	本 多 勇 弘 香 門 正 康 後 丸 菊 雄 藤 明 治 樺 東 一 郎 瀬 戸 充 大 野 正 夫 原 欽 五	日 高 又 弘 早 生 隆 彦 竹 野 照 雄	立 部 德 三 直 村 勝 幸 久 富 木 勝 幸	三 安 露 敏 夫 里 長 德 男 田 兼 一 郎 棟 東 一 郎	荒 木 大 龍 夫 島 田 賀 平 古 賀 公 久 梶 原 光 久	佐 藤 滿 雄 芝 田 為 清 室 屋 次 廣 藤 本 廣
監 査		久 富 木 勝 幸				
幹 事 長		林 健 二 郎	青 野 滿	上 田 克 巳	石 井 聖 治	磯 保 敏 行
幹 事		喜 田 健 一 郎 平 野 由 夫	沢 村 武 助 松 下 幸 正	平 竹 常 二 山 本 昌 孝	儀 秀 人	中 釜 栄

2. 出版物刊行一覧

2.1 本部出版物

* 学会監修または編集出版物で出版社で発行したもの。

書名	発行年	判型・ページ
東京市内外交通ニ関スル調査書-土木学会誌第5巻第3号	大. 8. 8	B5・ 93P. 付図
大阪市内外高速鉄道調査会報告書	大. 13. 10	
大正12年関東大地震震害調査報告書, 第1巻	大. 15. 8	B5・ 188P.+付図, 写真
東京・横浜付近交通調査報告書-土木学会誌第12巻第2号	大. 15.	B5・ 38P. 付図, 付表
大正12年関東大地震震害調査報告書, 第2巻	昭. 2. 1	B5・ 213P.+付図, 写真
大正12年関東大地震震害調査報告書, 第3巻	昭. 2. 12	B5・ 382P.+付図, 写真
土木工事写真集-土木学会誌臨時増刊	昭. 5. 6	B5・ 132P.
昭和6年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書	昭. 6. 9	B5・ 67P.
昭和6年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書解説	昭. 6. 10	B5・ 161P.
昭和6年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書-再版	昭. 7. 1	B5・ 67P.
土木工学論文抄録, 第1集	昭. 9. 10	A4・ 519P.
創立20周年記念土木学会略史-土木学会誌第20巻第12号	昭. 9. 12	B5・ 18P.
明治以前日本土木史	昭. 11. 6	B5・1745P.
昭和10年台湾中部地方震害調査報告書	昭. 11. 8	B5・ 27P.
昭和9年関西地方風水害調査報告	昭. 11. 10	B5・ 232P.
昭和11年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書	昭. 11. 10	B6・ 57P.
昭和11年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書解説	昭. 11. 10	A5・ 179P.
丹那隧道工事誌	昭. 11. 11	B5・ 602P.
土木工学用語集-日・英・独・仏	昭. 11. 11	A6・ 558P.
創立25周年記念土木学会略史	昭. 14. 10	A5・ 68P.
土木工学論文抄録, 第2集	昭. 14. 10	A4・ 377P.
鋼鉄道橋標準設計示方書-土木学会誌第26巻第7号-	昭. 15. 3	B5・ 11P.
昭和15年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書	昭. 15. 5	B6・ 61P.
昭和15年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書解説	昭. 15. 8	A5・ 145
国難打開課題	昭. 16. 8	B5・ 37P.
関東及び関西地方水害調査報告書	昭. 16. 11	
明治以後 本邦土木と外人	昭. 17. 2	A5・ 295P.
水理公式集	昭. 18. 12	
昭18年9月鳥取地方震害調査報告-土木学会誌第30巻第2号	昭. 19. 2	B5・ 12P.
南海大地震災害報告-土木学会誌第32巻第1号	昭. 22. 8	B5・ 18P.
東北関東水害報告-土木学会誌第33巻第1号	昭. 23. 3	B5・ 8P.
コンクリート電気養生施工法指針	昭. 23. 7	
新英和工学辞典, 第2版*	昭. 23. 9	A6・ 557P.
水理公式集(原案)	昭. 23. 10	B5・ 178P.
下水道学* 前編(土木工学叢書)	昭. 23. 11	B5・ 264P.
昭和23年北陸地震災害調査報告-土木学会誌第33巻第4号	昭. 23. 12	B5・ 13P.
木構造学*(土木工学叢書)	昭. 24. 3	B5・ 243P.
昭和24年土木学会コンクリート標準示方書	昭. 24. 7	B6・ 248P.
関門隧道	昭. 24. 8	B5・ 640P.
上水道学* 前編(土木工学叢書)	昭. 24. 8	B5・ 177P.
昭和24年土木学会水理公式集	昭. 24. 9	A5・ 167P.
昭和24年土木学会水理公式集, 再版	昭. 24. 12	A5・ 167P.
昭和24年土木学会コンクリート標準示方書, 3版	昭. 25. 4	B6・ 248P.
鉄道線路*(土木工学叢書)	昭. 25. 4	B5・ 168P.
世界の学会	昭. 25. 7	B4・ 34P.
鋼橋(I)* (土木工学叢書)	昭. 25. 7	B5・ 477P.

書名	発行年	判型・ページ
最新土質工学(昭和25年夏期講習会テキスト)	昭. 25. 8	B5・118P.
土工学論文抄録, 第3集	昭. 25. 8	A4・224P.
昭和24年土木学会コンクリート標準示方書解説	昭. 25. 12	B6・248P.
土工学の概観(1940~1945)	昭. 25. 12	B5・537P.
福井地震震害調査報告書	昭. 26. 4	B5・184P.
昭和24年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和26年度版	昭. 26. 6	B6・266P.
昭和24年土木学会コンクリート標準示方書解説, 昭和26年度版	昭. 26. 6	B6・248P.
コンクリートとダム(昭和26年夏期講習会パンフレット(Ⅰ))	昭. 26. 8	B5・66P.
橋梁(昭和26年夏期講習会パンフレット(Ⅱ))	昭. 26. 8	B5・92P.
土工学論文抄録, 第4集	昭. 26. 10	A4・173P.
鉄筋コンクリート橋*(土木工学叢書)	昭. 27. 6	B5・469P.
建設機械化(昭和27年夏期講習会パンフレット)	昭. 27. 8	B5・172P.
水工学の最近の進歩(土木学会水工学論文集)	昭. 28. 3	B5・288P.
土木製図基準(Ⅰ)	昭. 28. 4	B5・45P.
昭和24年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和26年版, 3版	昭. 28. 6	B6・266P.
鋼橋(Ⅰ)*(土木工学叢書), 再版	昭. 28. 6	B5・503P.
下水道学*, 前編(土木工学叢書), 再版	昭. 28. 6	B5・258P.
木構造学*(土木工学叢書), 再版	昭. 28. 6	B5・243P.
プレストレスト コンクリートと構造力学(昭和28年夏期講習会パンフレット)	昭. 28. 8	B5・188P.
プレストレスト コンクリート(プレストレストコンクリートと構造力学-昭和28年夏期講習会パンフレット-昭和28年8月の別冊)	昭. 28. 8	B5・67P.
下水道学*, 後編(土木工学叢書)	昭. 28. 8	B5・238P.
最新土質工学(昭和25年夏期講習会テキスト), 訂正4版	昭. 28. 10	B5・138P.
プレストレスト コンクリートと構造力学(昭和28年夏期講習会パンフレット), 再版	昭. 29. 3	B5・188P.
学術用語集-土木工学編	昭. 29. 3	A5・395P.
昭和24年土木学会水理公式集, 3版	昭. 29. 3	A5・167P.
土木製図基準(Ⅰ), 再版	昭. 29. 4	B5・46P.
応用力学*(土木工学叢書)	昭. 29. 5	B5・136P.
新材料と新工法(昭和29年夏期講習会パンフレット)	昭. 29. 8	B5・131P.
創立40周年記念土木学会略史	昭. 29. 10	B5・73P.
土木工事写真集-土木学会創立40周年記念	昭. 29. 10	A4・224P.
土工学ハンドブック	昭. 29. 10	A5・2129P.
わが国土工学の趨勢-土木学会創立40周年記念号・土木学会誌第39巻第12号別刷	昭. 29. 12	B5・153P.
土工学ハンドブック, 上巻, 再版	昭. 30. 2	A5
土工学ハンドブック, 下巻, 再版	昭. 30. 2	A5
土工学ハンドブック, 再版	昭. 30. 2	B5・2129P.
昭和24年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和26年版, 5版	昭. 30. 5	B6・266P.
学術用語集-土木工学編, 再版	昭. 30. 5	B6・395P.
昭和30年土木学会プレストレスト コンクリート設計施工指針	昭. 30. 6	B6・58P.
土工学論文抄録, 第5集	昭. 30. 6	A4・378P.
昭和24年土木学会コンクリート標準示方書解説, 昭和26年度版, 7版	昭. 30. 7	B5・165P.
鋼鉄道橋設計示方書案解説, 昭和30年版	昭. 30. 8	B5・86P.
鋼橋設計示方書とプレストレストコンクリート指針(昭和30年夏期講習会パンフレット)	昭. 30. 8	B5・150P.
海岸工学用語集	昭. 31. 4	B5・96P.
道路工学*(土木工学叢書)	昭. 31. 6	B5・546P.
災害とその対策(昭和31年夏期講習会テキスト)	昭. 31. 8	B5・230P.
無筋コンクリート標準示方書	昭. 31. 8	B5・47P.

書名	発行年	判型・ページ
鋼鉄道橋設計示方書解説, 改訂版	昭. 31. 11	B5・ 89P
コンクリートの品質管理	昭. 31. 11	A5・ 31P
昭和31年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和31年度版	昭. 31. 11	B6・ 350P
昭和31年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和31年度版, 再版	昭. 31. 12	B6・ 350P
鋼橋(Ⅲ)* (土木工学叢書)	昭. 31. 12	B5・ 620P
海岸保全施設設計便覧(案)	昭. 32. 5	B5・ 427P
海岸保全施設設計便覧, 昭和32年版	昭. 32. 8	A5・ 232P
水理公式集, 昭和32年改訂版	昭. 32. 8	A5・ 293P
機械化土工*(土木工学叢書)	昭. 32. 9	B5・ 157P
プレストレスト コンクリートの設計及施工*(土木工学叢書)	昭. 32. 11	B5・ 842P
昭和31年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和31年度版, 8版	昭. 33. 5	B6・ 350P
昭和30年土木学会プレストレスト コンクリート設計施工指針, 3版	昭. 33. 8	B6・ 58P
新しい建設工法(昭和33年夏期講習会テキスト)	昭. 33. 8	B5・ 201P
設計および監理業務基準並に参考資料	昭. 33. 11	A5・ 91P
昭和31年土木学会コンクリート標準示方書解説, 昭和33年度版	昭. 33. 12	A5・ 325P
昭和31年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和33年度版	昭. 34. 1	B6・ 368P
昭和31年土木学会コンクリート標準示方書解説, 昭和33年度版, 再版	昭. 34. 4	A5・ 325P
トンネルと掘削工法(昭和34年夏期講習会テキスト)	昭. 34. 8	B5・ 342P
Earthquake Resistant Design for Civil Engineering Structures, Earth Structures and Foundations in Japan - 1960	昭. 35. 7	B5・ 108P
最近の道路問題と高速道路(昭和35年夏期講習会テキスト)	昭. 35. 8	B5・ 334P
関門トンネル工事誌	昭. 35. 12	B5・ 692P
土木工学論文抄録, 第6集	昭. 36. 1	A4・ 498P
文献分類項目および記入文献一覧表	昭. 36. 4	B5・ 41P
関門トンネル工事誌, 再版	昭. 36. 8	B5・ 692P
最近におけるプレストレスト コンクリート設計施工指針の改訂とPC橋の現況(昭和36年夏期講習会テキスト)	昭. 36. 8	B5・ 194P
土木学会プレストレスト コンクリート設計施工指針, 昭和36年度改訂版	昭. 36. 8	B6・ 124P
吉田徳次郎博士論文集	昭. 36. 9	B5・ 274P
コンクリート橋-鉄筋コンクリート橋及プレストレスト コンクリート橋*(土木工学叢書)	昭. 37. 5	B5・ 646P
水理公式集, 昭和32年改訂版, 8版	昭. 37. 6	A5・ 293P
最近の基礎工法(昭和37年度夏期講習会テキスト)	昭. 37. 8	B5・ 321P
工事報告 坂本アーチダム	昭. 38. 2	B5・ 226P
コンクリート構造急速施工委員会報告書-プレキャスト方式コンクリート工事についての研究	昭. 38. 3	A4・ 377P
昭和31年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和33年度版, 12版	昭. 38. 5	B6・ 368P
水理公式集, 昭和38年増補改訂版	昭. 38. 8	A5・ 603P
土質実験指導書	昭. 38. 8	B5・ 65P
若戸橋調査報告書	昭. 38. 10	B5・ 920P
若戸橋工事報告書	昭. 39. 2	B5・ 1248P
土木材料実験指導書	昭. 39. 2	B5・ 126P
昭和39年土木学会トンネル標準示方書	昭. 39. 3	A5・ 26P
土木製図基準(Ⅰ), 昭和31年改訂版	昭. 39. 3	B5・ 46P
土木製図基準(Ⅰ), 昭和39年改訂版	昭. 39. 3	B5・ 46P
土木工学ハンドブック, 普及版	昭. 39. 3	A5・ 2830P
水理公式集, 昭和38年増補改訂版, 4版	昭. 39. 6	A5・ 603P
土木学会誌・論文集総索引	昭. 39. 6	B5・ 260P
土地造成*(土木工学叢書)	昭. 39. 6	A5・ 252P

書名	発行年	判型・ページ
昭和39年土木学会トンネル標準示方書, 修正版	昭. 39. 8	A5・26P.
昭和39年土木学会トンネル標準示方書解説	昭. 39. 8	A5・128P.
日本の土木技術-100年の発展のあゆみ	昭. 39. 10	A5・477P.
創立50周年記念土木学会略史	昭. 39. 11	B5・86P.
土木技術者の活躍と大学土木教育-昭和39年度中間報告	昭. 39. 11	B5・86P.
建設/創造/技術(写真集)	昭. 39. 11	A4・233P.
土木工学ハンドブック(上巻), 拡大版	昭. 39. 11	B5・1580P.
土木工学ハンドブック(下巻), 拡大版	昭. 39. 11	B5・1250P.
Earthquake Resistant Design for Civil Engineering Structures, Earth Structures and Foundations in Japan-1964	昭. 39. 12	B5・122P.
爆破*(土木工学叢書)	昭. 40. 2	A5・182P.
工事報告 大鳥セミアーチダム	昭. 40. 3	B5・226P.
本州四国連絡橋技術調査第一次報告書	昭. 40. 5	A4・240P.
本州四国連絡橋技術調査第一次報告書, 付属資料-耐風設計指針(1964)解説	昭. 40. 5	A4・178P.
本州四国連絡橋技術調査第一次報告書, 付属資料-鋼材調査	昭. 40. 5	A4・101P.
コンクリート標準示方書土木学会規準, 改訂版	昭. 40. 7	B6・234P.
構造工学における最近の諸問題(昭和40年度夏期講習会テキスト)	昭. 40. 8	B5・304P.
工事報告 川俣アーチダム	昭. 40. 8	B5・331P.
工事報告 一ツ瀬・杉安アーチダム	昭. 40. 8	B5・538P.
土木技術者の活躍と大学土木教育	昭. 40. 9	A5・137P.
鋼鉄道橋設計示方書解説, 7版	昭. 40. 10	B5・89P.
土木建造物の耐震設計指針(案)	昭. 40. 10	B5・79P.
日本土木史 大正元年~昭和15年	昭. 40. 12	B5・1733P.
土質実験指導書, 改訂版	昭. 41. 4	B5・91P.
工事報告 黒部川第四発電所	昭. 41. 4	B5・1360P.
人工軽量骨材コンクリート設計施工指針(案)	昭. 41. 5	B6・53P.
昭和39年新潟地震震害調査報告	昭. 41. 6	B5・904P.
土木技術者のための振動便覧	昭. 41. 8	A5・435P.
プレバクド・コンクリート施工指針(案)	昭. 41. 10	B6・38P.
わが国シールド工法の実施例, 第1集(トンネル工学シリーズ 4)	昭. 41. 11	B5・337P.
土木年鑑-1967*	昭. 41. 11	B5・484P.
土木技術者のための岩盤力学	昭. 41. 11	B5・489P.
土木図書館蔵書目録, 第1集	昭. 42. 1	A5・396P.
水理実験指導書, 昭和42年版	昭. 42. 3	B5・59P.
土木製図基準, 昭和42年改訂版	昭. 42. 4	A4・153P.
昭和42年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和42年度版	昭. 42. 5	B6・438P.
工事報告 天草五橋	昭. 42. 5	B5・799P.
土木製図基準, 昭和42年改訂版, 2版	昭. 42. 6	A4・150P.
昭和42年土木学会コンクリート標準示方書解説, 昭和42年版	昭. 42. 7	A5・353P.
本州四国連絡橋技術調査報告書	昭. 42. 7	A4・504P.
本州四国連絡橋技術調査報告書, 付属資料1-耐風設計指針(1967)および同解説	昭. 42. 7	A4・182P.
本州四国連絡橋技術調査報告書, 付属資料2-耐震設計指針(1967), 同解説および耐震設計詳説	昭. 42. 7	A4・194P.
本州四国連絡橋技術調査報告書, 付属資料3-鋼材に関する調査資料	昭. 42. 7	A4・142P.
昭和42年度夏期講習会資料	昭. 42. 8	B5・127P.
鋼橋(Ⅲ)*(土木工学叢書), 改訂版	昭. 42. 9	B5・862P.
土木年鑑-1968	昭. 42. 11	B5・424P.
橋 1966-1967	昭. 43. 1	A4・67P.
土質工学*(わかり易い土木講座)	昭. 43. 8	A5・318P.

書名	発行年	判型・ページ
土木図書館蔵書目録, 第2集	昭. 43. 1	A5・ 71P.
土質実験指導書, 昭和43年版	昭. 43. 3	B5・ 91P.
土木材料実験指導書, 昭和43年版	昭. 43. 3	B5・ 187P.
下水道雨水流出量に関する研究報告書, 昭和42年度	昭. 43. 3	B5・ 89P.
土木製図基準, 昭和42年改訂版, 3版	昭. 43. 4	B5・ 151P.
水理公式集, 昭和38年増補改訂版, 10版	昭. 43. 4	A5・ 603P.
コンクリート工学*(1)(わかり易い土木講座10)	昭. 43. 5	A5・ 287P.
建設技術者のための測定法	昭. 43. 8	A5・ 421P.
Earthquake Resistant Design for Civil Engineering Structures, Earth Structures and Foundations in Japan-1968	昭. 43. 11	B5・ 140P.
応用力学*(1)(わかり易い土木講座4)	昭. 43. 12	A5・ 319P.
土木年鑑-1969*	昭. 43. 12	B5・ 440P.
橋 1967-1968	昭. 43. 12	A4・ 82P.
Thirteenth Congress of the International Association for Hydr- aulic Research, Vol.1~Vol.5-1~5-3	昭. 44. 8	A5・3115P.
土木図書館蔵書目録, 第3集	昭. 44. 1	A5・ 86P.
数学*(わかり易い土木講座1)	昭. 44. 1	A5・ 320P.
大学土木教育の方向を探る-その現状と問題点	昭. 44. 3	A5・ 231P.
土木材料実験指導書, 昭和44年版	昭. 44. 3	B5・ 187P.
鉄筋コンクリート工場製品設計施工指針(案)	昭. 44. 3	B6・ 228P.
上水道学*(土木工学叢書)	昭. 44. 4	B5・ 413P.
フィルムライブラリーの案内 I-1969	昭. 44. 4	B5・ 22P.
下水汚泥の処理・処分および利用に関する研究報告書, 昭和43年度	昭. 44. 4	B5・ 232P.
衛生工学*(わかり易い土木講座15)	昭. 44. 5	A5・ 320P.
海岸保全施設設計便覧, 改訂版	昭. 44. 7	B5・ 293P.
測量(1)*-基礎(わかり易い土木講座2)	昭. 44. 8	A5・ 296P.
土質工学*(土木工学叢書)	昭. 44. 8	B5・1048P.
土木図書館蔵書目録, 第4集	昭. 44. 11	B5・ 82P.
トンネル標準示方書解説, 昭和44年改訂版	昭. 44. 11	A5・ 143P.
シールド工法指針, 昭和44年制定	昭. 44. 12	A5・ 137P.
橋 1968-1969	昭. 44. 12	A4・ 94P.
土木年鑑-1970*	昭. 45. 1	B5・ 442P.
構造実験指導書	昭. 45. 2	B5・ 147P.
土木製図基準, 昭和45年版	昭. 45. 3	A4・ 173P.
土質実験指導書, 昭和45年改訂版	昭. 45. 3	B5・ 98P.
測量実習指導書	昭. 45. 3	B6・ 231P.
東名高速道路建設誌	昭. 45. 3	B5・1024P.
下水汚泥の処理・処分および利用に関する研究報告書, 昭和44年度	昭. 45. 3	B5・ 160P.
明日の国土を築く力-高校土木教育白書	昭. 45. 6	A5・ 308P.
土木技術者の海外活動における諸問題-土木学会誌第55巻第8号(昭和45年8月) 抜刷	昭. 45. 8	B5・ 54P.
土木工事の積算(昭和45年度夏期講習会テキスト)	昭. 45. 8	B5・ 222P.
土木技術フィルムリスト-1970	昭. 45. 9	B5・ 126P.
応用力学*(II)(わかり易い土木講座5)	昭. 45. 10	A5・ 336P.
土木図書館蔵書目録, 第5集	昭. 45. 11	A5・ 60P.
鋼鉄道橋設計標準解説, 昭和45年版	昭. 45. 11	A5・ 369P.
鋼鉄道橋設計標準解説, 昭和45年改訂版	昭. 45. 12	A5・ 369P.
土木年鑑 - 1971*	昭. 46. 1	B5・ 384P.
水理*(わかり易い土木講座7)	昭. 46. 1	A5・ 344P.

書名	発行年	判型・ページ
橋 1969-1970	昭. 46. 2	A4・ 94P.
施工* (わかり易い土木講座14)	昭. 46. 2	A5・ 270P.
下水汚泥の処理・処分および利用に関する研究報告書, 昭和45年度	昭. 46. 3	B5・ 194P.
土木用語辞典*	昭. 46. 4	B6・1421P.
土木学会投稿の手引き, 昭和46年版	昭. 46. 4	B5・ 40P.
本州四国連絡鉄道吊橋技術調査委員会中間報告書-軌道専門部会報告, 橋梁専門部会報告	昭. 46. 7	A4・ 576P.
本州四国連絡橋基礎調査実験報告書-併用橋	昭. 46. 7	A4・ 968P.
沈埋トンネル要覧	昭. 46. 7	B5・ 187P.
土木工文学文献目録集-1969	昭. 46. 9	B5・ 202P.
土木技術者のための法律講座(昭和46年夏期講習会テキスト)	昭. 46. 9	B5・ 115P.
鉄道* (わかり易い土木講座13)	昭. 46. 10	A5・ 352P.
建設機械* (土木工学叢書)	昭. 46. 10	B5・ 506P.
OECドトンネル会議の全貌と現場視察報告	昭. 46. 10	B5・ 406P.
水理公式集, 昭和46年改訂版	昭. 46. 11	B5・ 616P.
サンフェルナンド地震(1971年2月9日)の震害について-土木学会論文報告集 195号(昭和46年11月)抜刷	昭. 46. 11	B5・ 32P.
土木製図* (わかり易い土木講座20)	昭. 46. 12	B5・ 145P.
橋 1970-1971	昭. 47. 2	A4・ 102P.
海岸・港湾* (わかり易い土木講座17)	昭. 47. 3	A5・ 372P.
下水汚泥の処理・処分および利用に関する研究報告書, 昭和46年度	昭. 47. 3	B5・ 321P.
土木製図基準, 昭和47年改訂版	昭. 47. 4	A4・ 173P.
ダム基礎岩盤グラウチングの施工指針, 昭和47年制定	昭. 47. 6	A5・ 77P.
基礎工学(II)* (土木工学叢書)	昭. 47. 8	B5・ 656P.
市街地土木工事の仮設と安全対策(昭和47年度夏期講習会テキスト)	昭. 47. 8	B5・ 223P.
農業工学* (わかり易い土木講座19)	昭. 47. 9	A5・ 249P.
土木図書館蔵書目録, 第6集	昭. 47. 10	A5・ 114P.
河川* (わかり易い土木講座16)	昭. 47. 11	A5・ 356P.
コンクリート橋* (土木工学叢書), 改訂版	昭. 47. 11	B5・ 752P.
遠心力大径プレストレスト コンクリート杭設計施工指針案	昭. 47. 11	B5・ 139P.
橋 1971-1972	昭. 48. 1	A4・ 94P.
地震応答解析と実例	昭. 48. 1	B5・ 457P.
本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書, 昭和47年度, 別冊2-吊橋主塔設計要領(案)	昭. 48. 3	A4・ 53P.
本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書, 昭和47年度 別冊4-鋼上部構造用鋼板の所要性能	昭. 48. 3	A4・ 102P.
本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書, 昭和47年度, 別冊5-塗装分科会中間報告書	昭. 48. 3	A4・ 71P.
本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書, 昭和47年度, 別冊6-吊橋のねじり解析	昭. 48. 3	A4・ 77P.
下水汚泥の処理・処分および利用に関する研究報告書, 昭和47年度	昭. 48. 3	B5・ 278P.
橋(I)* (わかり易い土木講座8)	昭. 48. 4	A5・ 309P.
日本土木史 昭和16年~昭和40年	昭. 48. 4	B5・1994P.
Earthquake Resistant Design for Civil Engineering Structures, Earth Structures and Foundations in Japan-1973, 1968年改訂版	昭. 48. 5	B5・ 150P.
ダム基礎岩盤グラウチング施工実例集	昭. 48. 5	A4・ 348P.
日本土木史 大正元年~昭和15年, 初版第二刷	昭. 48. 5	B5・1734P.
道路* (わかり易い土木講座12)	昭. 48. 7	A5・ 282P.
基礎と地盤(昭和48年度夏期講習会テキスト)	昭. 48. 8	B5・ 187P.

書名	発行年	判型・ページ
海洋鋼構造物設計指針(案)解説	昭. 48. 8	B5・195P.
シールド工用標準セグメント-鋼製セグメント・コンクリート系セグメント	昭. 48. 11	B5・236P.
明治以前日本土木史, 復刻版	昭. 48. 12	B5・1745P.
橋 1972-1973	昭. 49. 2	A4・112P.
本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書, 昭和48年度, 別冊1-補剛材つき圧縮板の設計要領(案)	昭. 49. 3	A4・54P.
本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書, 昭和48年度, 別冊2-本州四国連絡橋の疲労設計	昭. 49. 3	A4・169P.
本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書, 昭和48年度, 別冊3-本州四国連絡橋の防錆塗装	昭. 49. 3	A4・78P.
本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書, 昭和48年度, 別冊4-アーチの解析と吊橋解析の追補	昭. 49. 3	A4・217P.
本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書, 昭和48年度, 別冊5-鋼上部構造の工場製作における品質管理	昭. 49. 3	A4・88P.
鋼鉄道橋設計標準解説, 1974年改訂版	昭. 49. 4	A5・402P.
日本土木史 大正元年~昭和15年, 初版第三刷	昭. 49. 6	B5・1734P.
発電工学*(わかり易い土木講座18)	昭. 49. 9	A5・394P.
コンクリート標準示方書, 昭和49年度版	昭. 49. 9	A5・502P.
コンクリート標準示方書解説, 昭和49年度版	昭. 49. 9	A5・434P.
日本の土木地理-国土への理解と認識のために	昭. 49. 10	A5・442P.
海外建設工事の契約・仕様-エンジニアリング関係の理解のために	昭. 49. 10	A5・551P.
土木工学ハンドブック, 上巻	昭. 49. 11	B5・774P.
土木工学ハンドブック, 中巻	昭. 49. 11	B5・853P.
土木工学ハンドブック, 下巻	昭. 49. 11	B5・1097P.
土木工学ハンドブック, 資料編	昭. 49. 11	B5・171P.
土木図書館蔵書目録, 第7集	昭. 49. 11	A5・120P.
土木技術フィルムリスト-1974	昭. 49. 11	B5・136P.
土木工学における数値解析*, 基礎編(サイエンス・ライブラリー情報電算機27)	昭. 49. 11	A5・138P.
土木工学における数値解析*, 計手法編(サイエンス・ライブラリー情報電算機28)	昭. 49. 11	A5・136P.
土木工学における数値解析*, 変形応力解析編(サイエンス・ライブラリー情報電算機29)	昭. 49. 11	A5・163P.
土木工学における数値解析*, 流体解析編(サイエンス・ライブラリー情報電算機30)	昭. 49. 11	A5・150P.
国鉄建造物設計標準解説, 1974年版	昭. 49. 11	B5・471P.
構造力学公式集	昭. 49. 12	B5・478P.
Proceedings, U. S. - Japan Seminar on Engineering and Environmental Aspects of Waste Heat Disposal	昭. 49. 12	A4・480P.
沿岸海洋開発の国際的動向と技術交流講演論文	昭. 50. 3	B5・178P.
土木材料実験指導書, 昭和50年改訂版	昭. 50. 3	B5・159P.
土木材料実験指導書, 昭和50年改訂版(高校課程(基礎編))	昭. 50. 3	B5・109P.
橋 1973-1974	昭. 50. 3	A4・103P.
港大橋工事誌	昭. 50. 3	B5・1030P.
沈埋トンネル耐震設計指針(案)	昭. 50. 3	B5・56P.
橋*(II)(わかり易い土木講座9)	昭. 50. 4	A5・362P.
日本の土木技術-近代土木発展の流れ	昭. 50. 7	A5・505P.
土木技術者のための岩盤力学, 昭和50年度改訂版	昭. 50. 7	B5・676P.
測量*(II)-応用(わかり易い土木講座3)	昭. 50. 8	A5・333P.
実務者のための工事管理(昭和50年度夏期講習会テキスト)	昭. 50. 8	B5・171P.
構造力学公式集発刊記念講習会テキスト	昭. 50. 9	B5・104P.

コンクリート・ライブラリー

書名	発行年	判型・ページ
・コンクリートの話 — 吉田徳次郎先生御遺稿より —	第 1号 昭. 37. 5	B5・ 48P.
・第1回異形鉄筋シンポジウム	第 2号 昭. 37. 12	B5・ 98P
・異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリート構造物の設計例	第 3号 昭. 38. 2	B5・ 41P
・ベーストによるフライアッシュの使用に関する研究	第 4号 昭. 38. 3	B5・ 22P.
・小丸川P C鉄道橋の架替え工事ならびにこれに関して行なった実験研究の報告	第 5号 昭. 38. 3	B5・ 38P
・鉄道橋としてのプレストレスト コンクリート桁の設計方法に関する研究	第 6号 昭. 38. 3	B5・ 62P.
・コンクリートの水密性の研究	第 7号 昭. 38. 6	B5・ 35P.
・鉱物質微粉末がコンクリートのワーカビリティおよび強度におよぼす効果に関する基礎研究	第 8号 昭. 38. 7	B5・ 56P.
・添えばりを用いるアンダーピンニング工法の研究	第 9号 昭. 38. 7	B5・ 18P.
・構造用軽量骨材シンポジウム	第10号 昭. 39. 5	B5・ 96P.
・微細な空けきり充填のためのセメント注入における混和材料に関する研究	第11号 昭. 39. 12	B5・ 28P.
・コンクリート舗装の構造設計に関する実験的研究	第12号 昭. 40. 1	B5・ 33P.
・プレバックド コンクリート 施工例集	第13号 昭. 40. 3	B5・ 330P.
・第2回異形鉄筋シンポジウム	第14号 昭. 40. 12	B5・ 236P.
・デイビダーク工法設計施工指針(案)	第15号 昭. 41. 7	B5・ 88P.
・単純曲げをうける鉄筋コンクリート桁およびプレストレスト コンクリート桁の極限強さ設計法に関する研究	第16号 昭. 42. 5	B5・ 34P.
・MDC工法設計施工指針(案)	第17号 昭. 42. 7	B5・ 94P.
・現場コンクリートの品質管理と品質検査	第18号 昭. 43. 3	B5・ 107P.
・港湾工事におけるプレバックド コンクリートの 施工管理に関する基礎研究	第19号 昭. 43. 3	B5・ 38P.
・フライアッシュを混和したコンクリートの中性化と鉄筋の発錆に関する長期研究	第20号 昭. 43. 10	B5・ 55P.
・バウル・レオンハルト工法設計施工指針(案)	第21号 昭. 43. 12	B5・ 100P.
・レオバ工法設計施工指針(案)	第22号 昭. 43. 12	B5・ 85P.
・BBRV工法設計施工指針(案)	第23号 昭. 44. 9	B5・ 133P.
・第2回構造用軽量骨材シンポジウム	第24号 昭. 44. 10	B5・ 132P.
・高炉セメントコンクリートの研究	第25号 昭. 45. 4	B5・ 73P.
・鉄道橋としての鉄筋コンクリート斜角げたの設計に関する研究	第26号 昭. 45. 5	B5・ 28P.
・高張力異形鉄筋の使用に関する基礎研究	第27号 昭. 45. 5	B5・ 24P.
・コンクリートの品質管理に関する基礎研究	第28号 昭. 45. 12	B5・ 28P.
・フレンソー工法設計施工指針(案)	第29号 昭. 45. 12	B5・ 123P.
・フープコーン工法設計施工指針(案)	第30号 昭. 46. 10	B5・ 75P.
・OSPA工法設計施工指針(案)	第31号 昭. 47. 5	B5・ 107P.
・OBC工法設計施工指針(案)	第32号 昭. 47. 5	B5・ 93P.
・VSL工法設計施工指針(案)	第33号 昭. 47. 5	B5・ 88P.
・鉄筋コンクリート終局強度理論の参考	第34号 昭. 47. 8	B5・ 158P.
・アルミナセメント コンクリートに関するシンポジウム	第35号 昭. 47. 12	B5・ 123P.
・SEEE工法設計施工指針(案)	第36号 昭. 49. 3	B5・ 100P.
・コンクリート標準示方書(昭和49年版)改訂資料	第37号 昭. 49. 9	B5・ 117P.
・コンクリートの品質管理	第38号 昭. 49. 9	B5・ 96P.
・膨張性セメント混合材を用いたコンクリートに関するシンポジウム	第39号 昭. 49. 10	B5・ 143P.
・太径鉄筋D51を用いた鉄筋コンクリート構造物の設計指針(案)	第40号 昭. 50. 6	B5・ 156P.
・鉄筋コンクリート設計法の最近の動向	第41号 昭. 50. 11	B5・ 186P.

講演会、シンポジウム等論文集、概要集・その他

書名	発行年	判型・ページ
<ul style="list-style-type: none"> ・年次学術講演会講演概要集 昭和12年第1回, 昭和24年第5回以後毎年 ・水理学研究の現況 昭和27年度より毎年. 昭和36年度から昭和44年度までは土木学会誌に登載. ・構造工学シンポジウム講演概要 昭和29年第1回より毎年. 昭和48年第20回までの名称は「橋梁・構造工学研究発表会」. 土木学会ほか共催. ・海岸工学講演会論文集 昭和29年第1回より毎年. ・水理講演会講演集 昭和31年第1回より毎年. ・地震工学研究発表会講演概要 昭和32年第1回より毎年. ・Coastal Engineering in Japan 昭和33年第1巻より年1回. ・Civil Engineering in Japan 昭和36年第1巻より毎年. ・トンネル工学シンポジウム, トンネル工学シリーズとして昭和37年第1号より不定期. ・岩盤力学に関するシンポジウム講演概要 昭和37年第1回より毎年. ・日本地震工学シンポジウム論文集 昭和37年第1回より4年ごと. 土木学会ほか共催. ・水工学に関する夏期研修会講義集(水工学シリーズ) 昭和39年第1回より毎年. 昭和44年は国際水理学会東京大会のため発行せず. ・岩の力学国内シンポジウム講演集 昭和39年第1回より3年に1回. 土木学会ほか共催. ・衛生工学研究討論会講演論文集 昭和39年第1回より毎年. ・岩盤力学文献目録 昭和40年第1回より不定期. 第1回, 第2回は土木学会誌に登載. ・土木計画学シンポジウム 昭和42年第1回より毎年. ・混相流シンポジウム前刷集 昭和42年. 土木学会ほか共催. ・土木計画学講習会テキスト 昭和43年第1回より毎年. ・不等質の疏れのシンポジウム前刷集 昭和44年. 土木学会ほか共催. ・Transactions of Japan Society of Civil Engineers(欧文論文集) 昭和44年第1巻より毎年. ・海洋開発シンポジウム講演集 昭和45年第1回より毎年. ・構造物の耐風性に関するシンポジウム論文集 昭和45年第1回より2年ごと. 土木学会ほか共催. ・Roch Mechanics in Japan 昭和45年第1巻より4年ごと. 土木学会ほか共催. ・総合開発懇談会討議記録 昭和45年第1回より不定期. ・流体輸送に関するシンポジウム前刷集 昭和46年. 土木学会ほか共催. ・アルミナセメント・コンクリートに関するシンポジウム 昭和46年. ・地震工学文献目録 昭和46年第1回より不定期. ・岩の力学講演会 昭和46年第1回より不定期. 土木学会ほか共催. ・土木製図の自動化に関するシンポジウム 昭和47年第1回. ・膨張性セメント混和材を用いたコンクリートに関するシンポジウム講演概要 昭和47年. ・環境問題シンポジウム講演集 昭和48年第1回より毎年. 		

マイクロフィッシュ出版物

書名	発行年	判型・ページ
<ul style="list-style-type: none"> ・土木学会誌・論文集総索引 学会誌第1巻(大正4年)~第48巻(昭和38年), 論文集第1号(昭和19年)~第100号(昭和38年), 5シート ・土木学会論文集 第1号(昭和19年)~第124号(昭和40年), 206シート ・土木学会誌 全巻-第1巻(大正4年)~第50巻(昭和40年), 1466シート, 大正編-第1巻(大正4年)~第12巻(大正15年), 474シート, 昭和前期編-第13巻(昭和2年)~第30巻(昭和14年), 614シート, 昭和後期編-第31巻(昭和21年)~第50巻(昭和40年), 378シート ・土木工文学文献目録集-1969年度版 マイクロフィッシュフィルムのみ, 5シート ・海岸工学講演会講演集 第1回(昭和29年)~第10回(昭和38年), 42シート 		

2.2 支部出版物

支部関係出版物については、現在在庫があり昭和50年3月までに出版されたもののみ掲載した。

◎北海道支部

書名	発行年	判	ページ
ネットワーク・プランニングの使い方 〔PERT基礎編〕	39. 6	B 5	54
昭和46年度 トンネル技術講習会テキスト	46. 10	B 5	84
昭和47年度都市問題および広域水利講習会テキスト	47. 11	B 5	50
昭和49年度論文報告集第31号	50. 1	B 5	306

◎関東支部

書名	発行年	判	ページ
舗装	41. 11	B 5	95
新しい測定技術	42. 10	B 5	140
新しい橋梁施工技術	43. 11	B 5	150
シールド工法と沈理工法の施工上の問題点	43. 11	B 5	267
土木構造物の新しい設計法	45. 12	B 5	352
最近のコンクリートの話題	46. 11	B 5	68
最近の杭の話題	47. 2	B 5	50
最近の鋼材の話題	47. 9	B 5	95

書名	発行年	判	ページ
軟弱地盤の設計と施工の問題点	48. 2	B 5	84
最近の建設機械の話題	48. 12	B 5	106
土木構造物の最近の諸問題	49. 8	B 5	63
最近における材料と施工法の話題	50. 3	B 5	112
第1回関東支部年次研究発表会講演概要集	49. 5	B 5	400

◎関西支部

書名	発行年	判	ページ
土木工事における土中水の扱い方	44. 11	B 5	173
構造工学 — 長大橋梁の諸問題 —	48. 3	B 5	163
昭和48年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要	48. 6	B 5	538
建設技術者のための有限要素法の基礎と応用	48. 12	B 5	228
安全と公衆災害防止に関する法規	49. 2	A 5	110
土と基礎の事故防止に関する諸問題	49. 3	B 5	157
昭和49年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要	49. 5	B 5	516
騒音振動公害 — 予測と対策の現状	49. 6	B 5	131
防災 — 自然災害と防止対策の展望	50. 3	B 5	158

◎西部支部

書名	発行年	判	ページ
昭和49年度研究発表会	50. 2	B 5	332

3. 土木学会賞受賞者

注：論文名のあとのカッコ内は会誌・論文集の区分および巻号を示す。

年度	氏名	題目および登載誌巻号
大正9年	物部長 徳	載荷せる構造物の震動並に其の耐震性に就て(会誌6-4)
大正10年	日比忠彦	混凝土の弾性係数に関する実験(会誌7-6)
大正11年	高橋逸夫	神戸税関海陸運輸連絡設備概要(会誌8-4)
大正12年	森垣 亀一郎	繁船岸壁の構造及び之が築設に関する構造上の私見(会誌9-4)
大正13年	高西 敬 義	矩形床版の撓度並に応力について(会誌10-6)
大正14年	井口 鹿 象	拱橋の設計に就て(会誌11-5)
大正15年	大河戸 宗 治	支線式無線電信柱(会誌12-4)
昭和2年	草 間 偉	Verdrechungsversuche mit Unbewehrten und Bewehrten Betonkörpern(会誌13-1)
昭和3年	宮 本 武之輔	Thermal Flexure of a Thin Plate hearsed on one Surface Extentional Stresses taken into Account.(会誌15-3)
昭和4年	山 口 昇	On Strength of Columns with Variable Cross Section.(会誌15-3)
昭和5年	田 中 豊	C. Runge's Theoremに依る積分曲線を用いて種々なる Surge Tankの研究(会誌16-7)
昭和6年	新 井 栄 吉	単鉸拱模型試験, 単鉸拱震動に関する考究(会誌17-11, 12)
昭和7年	三 浦 七 郎	沈降速度の理論及実験(会誌18-10)
昭和8年	鶴 見 一 之	Theorie der Roste und ihre Anwendungen.(会誌17-5, 10, 18-6, 19-6, 7, 10)
昭和8年	福 田 武 雄	

年 度	氏 名	題 目 お よ び 登 載 誌 卷 号
昭和 9 年	堀 越 一 三	軌条の挫屈について(会誌 20—10)
昭和 10 年	鷹部屋 福 平	不静定構造の解法に応用したる撓角分配法(会誌 21—1)
	池 田 篤三郎	鑄鉄管に於ける流量について(会誌 21—2)
昭和 11 年	三 瀬 幸三郎	連続拱橋の解法(会誌 22—11)
昭和 12 年	鮫 島 茂 夫	清水港岸壁の復旧並に補強工事に就て(会誌 23—9)
昭和 13 年	黒 田 静 夫	
	吉 町 太郎一	任意の数の集中荷重を担う可撓索性条に就て(会誌 24—7)
	岩 崎 富 久	炉過阻止率の計算(会誌 24—8, 9)
昭和 14 年	安 蔵 善之輔	一土圧公式と其の図式解法(会誌 25—5)
	大坪 喜久太郎	底面激変箇所における流体運動(会誌 25—12)
昭和 15 年	吉 田 徳次郎	最高強度コンクリート製造方法に就て(会誌 26—11)
昭和 16 年	内 海 清 温	玉石交り砂礫層の河川に設けたる取水堰基礎止水壁潜函工事の一例(会誌 27—11)
昭和 17 年	安 芸 峻 一	河相論主として河相と河川工法との関連性についての研究(会誌 27—10, 11, 29—3, 4)
昭和 18 年	最 上 武 雄	乾燥砂の運動機構に就て(会誌 28—5, 12, 29—6, 10)
	横 道 英 雄	河西橋に関する報告及び研究(会誌 28—7, 8, 29—2, 7)
	赤 沢 常 雄	コンクリートの圧縮に依る内部応力を求める新試験法(会誌 29—11)
昭和 19 年	水 野 高 明	砂地盤の支持力(会誌 28—11, 29—5) 凝集力を有する土の支持力(論 1)
	本 間 仁	射流現象特に射流の流体抵抗について(会誌 28—5, 論 1)
昭和 24 年	釘 官 磐	
学 会 賞	星 野 茂 樹	鉄道関門隧道工事について(会誌 32—1)
"	平 井 俊 敦	吊橋の捻り振動に対する安定性に就て(会誌 28—9, 論 1, 2)
"	岡 本 舜 三	素掘坑の強さに関する弾性学的考察(論 3)
"	友 永 和 夫	新しい青函連絡用可動橋に就て(会誌 33—1)
奨 励 賞	浜 田 徳 一	河口不等波における乱れ粘性係数の一例(論 4)
"	吉 川 秀 夫	感潮河川の計算(論 3)
昭和 25 年		
学 会 賞	谷 藤 正 三	路盤の支持力に関する土質力学的研究(会誌 35—6)
"	国 分 正 胤	新旧コンクリートの打継目に関する研究(論 8)
奨 励 賞	岩 垣 雄 一	網代港埋没に関する飛砂の影響について(会誌 35—6)
昭和 26 年		
学 会 賞	畑 野 正	重力ダム の 動力学的研究(総合題目)(会誌 36—10, 11, 論 3, 5, 6)
"	丸 安 隆 和	地上写真の図化方法と地籍測量への利用法について(会誌 36—12)
奨 励 賞	田 中 茂	急斜面の土壌侵蝕の実験的研究(論 6)
"	林 泰 造	Mathematical Study of the Motion of Intumescences in Open Channels of Uniform Slope. (論 11)
昭和 27 年		
学 会 賞	小 西 一 郎	突合せ溶接継手の許容応力について(会誌 37—2)
"	森 田 定 市	三池炭鉱における人工島工事(会誌 37—6, 8)
奨 励 賞	久 保 慶三郎	セメントモルタルの塑性とクリープ(論 13)
"	安 部 清 孝	ランガー橋の振動に関する研究(論 14)
"	畑 中 元 弘	土堰堤の振動に関する 3 次元的考察(会誌 37—10)
昭和 28 年		
学 会 賞	坂 本 貞 雄	トンネルのコンクリート覆工から切取ったコアの圧縮強度試験(会誌 38—1)
"	猪 股 俊 司	プレストレスコンクリート桁に関する研究(論 17)

年 度	氏 名	題 目 お よ び 登 載 誌 卷 号
奨 励 賞	水 野 俊 一	現場コンクリートの品質を管理するに際しての二、三の問題(論16)
"	赤 井 浩 一	堤体二次元圧密の研究(論16) 盛土の施工制御に対する考察(会誌38-9)
"	樋 口 芳 朗	工学材料の模型解析(会誌38-9)
昭 和 29 年		
学 会 賞	星 栳 和	土の力学における塑性の基本理論と三軸試験への適用(論21)
奨 励 賞	後 藤 尚 男	橋脚地盤の基礎係数値分布に関する実験的研究(会誌39-6)
"	森 麟	土の水に対する安定性について(会誌39-10)
昭 和 30 年		
学 会 賞	仁 杉 巖	支間30mのプレストレストコンクリート鉄道橋の設計施工およびこれに関連して行った実験研究の報告(論27)
"	吉 越 盛 次	混和材としてのフライアッシュに関する研究(論31)
奨 励 賞	椿 東一郎	砂連をともなう捷流作用について浮流流砂が流れに及ぼす影響について(会誌40-8, 9)
"	米 沢 博	直交異方性板理論の斜桁橋構造への適用に関する研究(会誌40-10) 直交異方性板理論の連続桁橋構造解析への適用に関する研究(会誌40-11)
昭 和 31 年		
学 会 賞	熊 川 信 之	上椎葉アーチダム工事について(会誌41-4, 5)
"	村 上 永 一	西海橋(伊ノ浦橋)工事概要(会誌41-4, 5)
奨 励 賞	能 町 純 雄	弾性基礎にある四辺四隅とも自由な矩形板の曲げについて(論32)
"	山 内 利 彦	電気相似法による二、三の問題の実験解析(論38)
昭 和 32 年		
学 会 賞	願 田 彦 一	上水道送配水管路の設計上の諸問題(会誌42-6)
奨 励 賞	木 下 良 作	河床における砂礫堆の形成について(論42) アーチダムに働く地震時動水圧(論44) アーチダムに働く動水圧の模型実験(論46)
"	小 坪 清 真	不規則な地震動による動水圧(論47) 動水圧の減衰作用がダムの耐震性におよぼす影響について(第1回地震工学研究発表会講演概要)
昭 和 33 年		
学 会 賞	中 尾 光 信 上ノ土友 実彰	関門海底道路トンネル(会誌43-5)
"	藤 井 松 太 郎	大阪駅の沈下およびそれに伴う被害に関する研究並びにその対策について(論58)
"	佐 藤 志 郎	小河内ダム工事報告(会誌43-12)
奨 励 賞	岩 佐 義 朗	幅の漸変する水路における水流の遷移現象と境界特性との関連に関する理論的研究(論59) (別冊3-1)
昭 和 34 年		
学 会 賞	山 口 柏 樹	拡張せるKötterの方程式に関する二、三の考察(論60) 摩擦性塑性体の迂り線の幾何学(論61) 塑性流動における速度場の理論(論63) Kötterの方程式の理論土質力学への適用(論65)
奨 励 賞	奥 村 敏 恵 千 秋 信 一 秋 元 保	高張力綱におよぼす溶接熱量の影響(会誌44-11) 揚水式サージタンクの水利計算について(第14回年次学術講演会講演概要)
昭 和 35 年		
学 会 賞	小 野 木 次 郎	鉄道軌道変位の研究(鉄道技術123)
"	永 井 荘 七 郎	風と波を考慮した海岸堤防の形状と構造に関する研究(第7回海岸工学講演会講演集) 混成防波堤の直立部の滑動と直立部底面に働く揚圧力について(第7回海岸工学講演会講演集)
奨 励 賞	樺 木 亨	漂砂の運動機構に関する基礎的研究(第7回海岸工学講演会講演集)
"	室 田 明	開水路分水工の研究(論71-1)
"	野 沢 太 三	膨張性地山におけるずい道の土圧と施工法について(土と基礎8-5, 6)
昭 和 36 年		
学 会 賞	君 島 博 次	ダムコンクリートのクリープに関する研究(論72, 電力中研技研所報10-5, 6)
"	大 石 重 成	コンクリート造鉄道建造物に現われる欠陥とその補強法に関する研究(鉄道技研報告168)
奨 励 賞	日 野 幹 雄	開水部における乱流構造の基礎および水理学への応用に関する一連の研究 (電力中央研究所英文技術報告C6101, C6103)
"	倉 西 茂	水平横荷重を受けるアーチ橋について(論73) アーチ橋のねじれ座屈について(論75) 曲線格子桁の解法(論76)

年 度	氏 名	題 目 お よ び 登 載 誌 卷 号
吉 田 賞	三 村 通 精 上 野 浩 勇 細 谷 正	(業績)フライアッシュをペーストとして使用する方式の確立(論71別冊4-3)
	和 仁 達 美 川 口 輝 夫 菅 原 操 野 口 功 羽 野 義 直	(論文)小丸川PC鉄道橋の架替え工事ならびにこれに関連して行なった実験的研究報告(論76)
昭 和 37 年		
学 会 賞	高 野 総	アーチダムの基盤の安全性に対する実験的検討方法に関する研究(論78)
"	永 田 年	ダムコンクリートの品質管理について(論84)
奨 励 賞	芳 村 仁	曲線直交異方性扇形平板の曲げについて(論82)曲線直交異方性変厚扇形平板の曲げについて(論86)
"	土 屋 義 人	滑面水路床の下流端における洗掘限界(論80)水門下流部における洗掘限界に関する研究(論82)
吉 田 賞	山 崎 寛 司	鉱物質微粉末がコンクリートのウォーカビリティーにおよぼす効果に関する基礎研究(論84)
"	石 田 一 郎	鉱物質微粉末がコンクリートの強度におよぼす効果に関する基礎研究(論85)
"	村 田 二 郎	添え梁を用いるアンダー・ピンニング工法に関する研究(鉄道技術研究報告300)
昭 和 38 年		
	龍 山 養	鉄道幹線輸送力増強方式の研究(鉄道技術研究所報告342施設編141号所載)
	三 笠 正 人	粘土の圧密とセメントに関する一連の研究(土と基礎11, 3土質工学会関西支部講習会テキスト38年3月18日回年次学術講演会講演概要「軟弱粘土の圧密」鹿島研究所出版会刊行土質工学会秋季講演会38年11月)
奨 励 賞	林 正 夫	不連続な節理性基盤の応力伝播と強度評価の基礎的研究(総合題目)第18回年次学術講演会講演概要, 電力中央研究所技術研究所報告(土木63007, 630011)第2回岩盤力学に関するシンポジウム講演概要
"	大 長 昭 雄	アーチダムの基盤内の浸透流に関する実験的研究(論97)
"	深 沢 泰 晴	軸圧縮力を受ける円弧アーチ曲げねじれ座屈に関する研究(論96)
吉 田 賞	樋 口 芳 朗	微細な空けきてん充のためのセメント注入における混和材料に関する研究(論81)
"	岩 間 滋	コンクリート舗装の構造設計に関する実験的研究(土木研究所報告109, 112, 117)
昭 和 39 年		
学 会 賞	毛 利 正 光	駐車実態調査方式の研究(論112)
"	川 崎 偉 志 夫 乙 藤 憲 一 下 池 浩 哲 吉 田 賞 夫 田 吉 夫 蔵	若戸大橋の調査, 設計施工に関する業績(若戸大橋工事報告書(38年10月) 日本道路公団福岡支社編, 若戸大橋工事報告書(39年2月)土木学会発行)
奨 励 賞	加 藤 昭 吉	土木工事におけるPERT手法の導入と開発に関する業績(新しい工事計画と管理の技法(38年10月)-PERT CPMの理論と使い方-経営工学協会発行, 会誌49-6)
"	島 田 静 雄	横荷重ねじれ, ならびに垂直荷重をうける吊橋の計算を電子計算機にかけるためのプログラム, 吊橋ケーブルの水平反力簡易算定法(論102, 104)
吉 田 賞	藤 田 嘉 夫	単純曲げを受ける鉄筋コンクリート桁およびプレストレスコンクリート桁の極限強さと設計法に関する研究(北海道大学工学部研究報告32)
昭 和 40 年		
功 績 賞	内 海 清 温	
"	鈴 木 雅 次	
技 術 賞	日 本 國 有 鉄 道	東海道新幹線の建設
"	関 西 電 力 株 式 会 社	黒部川第四発電所の建設
論 文 賞	林 泰 造	Thrusts Exerted upon Composite-Type Breakwaters by the Action of Breaking Waves. (Coastal Engineering in Japan Vol. 7.) Virtual Mass and the Damping Factor of the Breakwater During Rocking and the Modification by their Effect of the Expression of the Thrusts Exerted upon Breakwaters by the Action of Breaking Waves. (Coastal Engineering in Japan Vol. 8.)
論文奨励賞	久 保 浩 一	垂直控え杭の横抵抗(土と基礎13-5 40年5月) 杭の横抵抗の新しい計算法(港湾技術研究所報告2-3 39年3月)

年 度	氏 名	題 目 お よ び 登 載 誌 卷 号
論文奨励賞	石 原 研 而	非可逆的線熱力学にもとづく熱の影響を考慮した圧密理論(論113) 粘弾性的物質の変形係数におよぼす荷重速度の影響(論117)
"	中 村 英 夫	航空写真と電子計算機による道路路線の設計法(論106)
"	土 岐 憲 三	Vibrational Characteristics and Aseismic of Sub-marged Bridge Piers. (京都大学工学部紀要27-1 40年1月)
吉田賞	赤 塚 雄 三	港湾工事におけるプレバッドコンクリートの施工管理に関する基礎研究 (港湾技術研究所報告4-6 40年7月)
昭和41年		
功績賞	田 淵 寿 郎	
"	青 木 楠 男	
技術賞	日本道路公団	名神高速道路の建設
論文賞	小 松 定 夫 中 井 博	曲線桁橋の自由振動に関する研究(英文)(論136)
論文奨励賞	佐 藤 吉 彦	乗心地の立場から見た軌道高低狂いの整備限度 (鉄道技術研究報告549 41年8月)
"	首 藤 伸 夫	長波のうちあげ高(第13回海岸工学講演会講演集41年12月)
"	柴 田 徹	Flow and Stress Relaxation of Clays (村山昶郎・柴田 徹) (Rheology and Soil Mechanics, 1966 International Union of Theoretical and Applied Mechanics.)
吉田賞	丸 安 隆 和 小 林 本 好 坂 本 好 史	高炉セメントコンクリートの研究(東京大学生産技術研究所報告15-4)
"	松 本 嘉 司	鉄道橋としての鉄筋コンクリート斜角げたの設計に関する研究 (鉄道技術研究報告481 40年6月)
田中賞		
論文部門	平 井 敦 岡 宮 利 雄	On the Behavior of Suspension Bridge under Wind Action (Proc. of Symposium on Suspension Bridges 40年11月)
作品部門		天門橋(天草五橋のうち) 目黒架道橋(首都高速2号線)
昭和42年		
功績賞	草 間 偉	
"	沼 田 政 矩	
技術賞	首都高速道路公団	首都高速道路の建設(羽田線, 目黒線, 渋谷線, 代々木線, 環状線)
論文賞	天 野 光 三	交通施設整備の地域経済効果に関する研究(運輸と経済27-11 41年11月 同27-12 41年12月)
論文奨励賞	和 田 明	入江内における冷却水取・放水の研究(第13回海岸工学講演会講演集41年12月 第14回同42年10月 電力中央研究所技術研究所報告, 65084, 66033, 67007, 67072)
"	合 田 良 實	直柱に働く衝撃破砕力の研究 有限振幅重複波ならびにその波圧に関する研究 (港湾技術研究所報告5-6 41年4月 同5-10 41年6月)
吉田賞	岡 村 甫	高張力異形鉄筋の使用に関する基礎的研究(コンクリートジャーナル4-2 41年2月, 同4-6 41年6月)
田中賞		
論文部門	伊 藤 学	Respons of Suspension Bridges for Moving Vehicles (東京大学工学部紀要29-1 42年3月)
作品部門		名護屋大橋 福島高架橋(阪神高速道路大阪池田線)
昭和43年		
功績賞	原 口 忠 次 郎	
"	永 田 年	
技術賞	日本国鉄 帝都高速度 交通 営 団	過密都市における鉄道の整備計画および施工(地下鉄5号線東陽町・中野間, 国鉄中野・荻窪間相互乗り入れ工事)
論文賞	堀 川 清 司	漂砂の移動機構に関する基礎的研究(総合題目) (Coastal Engineering in Japan, Vol. 10 42年12月 第15回海岸工学講演会講演集(著者名:堀川清司・渡辺晃)43年12月)
"	岩 佐 義 朗	Free Surface Flow Over a Wave Bed Journal of the Hydraulics Division(Proc. A. S. C. E.(著者名:岩佐義朗・John F. Kennedy)43年3月)

年 度	氏 名	題 目 お よ び 登 載 誌 卷 号
論文賞	佐佐木 綱 明 神 証	都市高速道路網における流入ランプ制御(英文)(論160)
論文奨励賞	西 野 文 雄	Residual Stress and Torsional Buckling Strength of H and Cruciform Columns(論160 43年12月)
吉田賞	尾 坂 芳 夫	コンクリートの品質管理に関する基礎研究(総合題目)(論158 コンクリートライブラリー18 43年3月)
田中賞 論文部門	小 西 一 郎 山 田 善 一 高 岡 宣 善	長大つり橋の地震応答と耐震設計法に関する研究(論159)
作品部門		尾道大橋 浜名湖橋 第三綾瀬高架橋
昭和 44 年		
功績賞	久保田 豊	
"	岡 部 三 郎	
技術賞	東京電力株式会社	梓川筋の大容量揚水発電所の建設
論文賞	後 藤 尙 男 亀 田 弘 行	地震時における最大地動の確率論的研究(論159)
"	市 原 薫	路面のすべり抵抗に関する研究(建設省土木研究所報告135号の3 44年2月)
論文奨励賞	吉 田 裕	任意形状の平板曲げの数値解析法(論167)
"	木 村 孟	二層地盤の力学性状に関する解析的研究(論162)
吉田賞	西 林 新 蔵	人工軽量骨材コンクリートに関する研究(総合題目)(論146, 155 コンクリートジャーナル第7 巻1号 44年1月, コンクリートライブラリー第24号 44年10月)
田中賞 論文部門	伊 藤 文 人 後 藤 茂 夫	実働荷重による鉄道橋の疲労被害推定(鉄道技術研究所報告No. 676 44年4月) 有限変形法による吊橋の解法 有限変形法による二, 三の考察(論156, 163)
作品部門		オークランドハーバー橋(拡幅部) 首都高速両国大橋 阪神高速大和川橋
昭和 45 年		
功績賞	鯨 島 茂	
"	岡 田 信 次	
技術賞	日本鉄道建設公団	京葉線羽田トンネル多摩川横断部沈埋トンネル工事
"	阪神高速道路公団	万国博覧会関連の都市高速道の建設
論文賞	市 原 松 平	平面ひずみ状態と軸対象ひずみ状態における乾燥砂のせん断特性 壁変位中における土圧特性と裏込め砂せん断特性の関連(論173, 176)
"	佐 藤 裕 朗 樋 口 芳 明	道床部に着目した新軌道の研究(論184)
論文奨励賞	坂 井 藤 一	薄肉平板より成る立体的構造物の静力学的解析に関する一方法とその応用(論176)
"	星 谷 勝	確率論的手法にもとづく構造解析に関する一連の研究(総合題目)(論180, 183, 184)
吉田賞	山 田 順 治 寺 塚 山 秀 隆	急速施工を目的とした特殊セメントの開発並びに実用化(業績)
田中賞 論文部門	該 当 な し	
作品部門		神戸大橋 富士川水管橋 山陽新幹線加古川橋りょう
昭和 46 年		
功績賞	稲 浦 鹿 蔵	
"	田 中 茂 美	
技術賞	日本国有鉄道 大阪新幹線工事業局	山陽新幹線六甲トンネルの建設—高圧湧水を伴う大断層破砕帯突破工法—
"	大 阪 府 土 木 部	大阪高潮対策事業としての安治川防潮水門
論文賞	原 田 実	貨物輸送近代化に伴う最適輸送配分とネットワーク上の適正配置についての研究(鉄道技術研究 報告777)
論文奨励賞	渡 辺 啓 行	フィルダムの地震応答解析法に関する一連の研究(総合題目)(電研技術研究報告680332, 68050, 71004, 71009)

年 度	氏 名	題 目 お よ び 登 載 誌 卷 号
論文奨励賞	竹 内 等	確率モデルによる多孔体内の流れのシミュレーション(論187)
"	太 田 秀 樹	異方圧密粘土の状態曲面について(英文)(論196)
吉 田 賞	後 藤 幸 正	鉄筋コンクリートの付着およびひびわれに関する研究(総合題目)(Journal of the American Concrete Institute, April 1971, 4 Proceedings. 68. コンクリートライブラリー2 37年12月, 14 40年12月)
田 中 賞		
論文部門		該 当 な し
作品部門		山陽新幹線吉井川橋りょう 京浜大橋
昭和 47		
功 績 賞	富 樫 凱 一	
"	福 田 武 雄	
技 術 賞	日本石油株式会社	日本石油喜入原油貯蔵中継基地の建設
論 文 賞	山 村 和 也	河川堤防の土質工学的研究(総合題目)(建・土研研究・140-3, 142-2, 145-1, 2, 3)
論文奨励賞	村 井 俊 治	土木計画, 設計における地形情報処理システムに関する研究(総合題目)(第12回国際写真測量学会論文47年7月, 東大生研究報告1, 46年4月, 2, 46年5月, 3, 47年7月, 4, 47年7月 会誌55-10, 57-8, 13, 論197)
吉 田 賞	長 滝 重 義	膨張セメントコンクリートに関する研究(論206, 207)
田 中 賞		
論文部門		該 当 な し
作品部門		浦戸大橋 生の浦大橋 境水道大橋
昭和 48 年		
功 績 賞	藤 井 松 太 郎	
"	石 原 藤 次 郎	
技 術 賞	電源開発株式会社	新豊根, 沼原両揚水式発電所の建設
"	日本道路公団	関門橋の建設
論 文 賞	岡 村 宏 一	連続体の弾性および弾塑性問題の解法に関する一連の研究(総合題目)(論190, 196, 199, 206, 212)
論文奨励賞	玉 井 信 行	沿岸水域における拡散, 分散問題の統一的研究(英文)(東大工学部紀要Vol. 31, No. 4)
"	竹 宮 宏 和	非線形履歴構造物のランダム応答解析(総合題目)(論219, 第20回橋梁・構造工学研究発表会48年11月)
吉 田 賞	藤 井 敏 夫	「堅岩基礎のグラウチング」ならびに「ダム基礎における岩盤計測とその設計, 施工への応用」(第2回岩の力学講演会48年2月, 第5回ダム技術講演討論会48年3月)
	松 島 博	ねじりをうける鉄筋コンクリート部材の設計法に関する研究(論218)
田 中 賞		
論文部門	奥 村 敏 恵 笹 戸 松 二 松 本 忠 夫 河 井 章 好	80キロ級高張力綱を使用した長大トラス橋の設計について(総合題目)(第19回橋梁・構造工学研究発表会47年12月, 論212, 橋梁と基礎Vol. 7, No. 6, 7, 48年6月, 7月)
"	長 谷 川 錦 一 菅 原 田 郎 田 七 夫	吊橋補剛桁の架設工法について(総合題目)(横河橋梁技報47年1月, 48年11月, 橋梁と基礎Vol. 4, No. 4 45年4月)
作品部門		関 門 橋 高島平高架橋 広島大橋
昭和 49 年		
功 績 賞	安 芸 峻 一	
"	米 田 正 文	
技 術 賞	日本国有鉄道広島新幹線工務局	岩鼻架道橋の建設 — プレストレストコンクリートトラス鉄道橋の設計・施工 —

47年	土木学会コンクリート委員会	尾坂 芳夫	岡村 甫
		小林 正几	
48年	国府 勝郎	尼崎 省二	水口 裕之 矢村 潔
	堀江 篤	松本 修躬	山口 芳昭 梅木 健一
	丸山 久一	神野 典久	坂東 弘 石橋 忠良
	岡田 武二	米山 紘一	菊地 一成 鶴巻 栄光
	藤田 和仁	三浦 尙	岩崎 訓明 小林 正几
	塚山 隆一	土木学会コンクリート委員会	長瀬 重義
49年	池田 尙	八巻 一幸	涌井 一 上田 茂
	大塚 浩司	角田 忍	佐伯 昇 関島 謙蔵
	竹田 英章	柳生 忠彦	蓮見 隆 豊福 俊英
	岩崎 訓明	土木学会コンクリート委員会	尾坂 芳夫

	泉谷平次郎	佐伯 利吉	鈴木角一郎
	鷹部屋福平	富永 正義	林 千秋
	松尾 守治		
39年	稲浦 鹿蔵	小川敬次郎	岡部 三郎
	坂上丈三郎	鮫島 茂	高橋嘉一郎
	武居高四郎	沼田 政矩	星野 茂樹
	三浦 義男	鷲尾 鶯龍	
40年	Arthur T. Ippen	菊池 明	久保田 豊
	近藤 泰夫	Leopold Escande	永田 年
	野田 誠三	岡田 信次	
41年	大島 太郎	田中 吉郎	成瀬 勝武
42年	内林 達一	大坪喜久太郎	福田 武雄
	宮本 保		
43年	大塩政治郎	下間 仲都	徳善 義光
44年	James W. Daily	Anton Grzywienski	佐々木 銃
	末森 猛雄	西松 三好	藤井松太郎
	堀 威夫	水谷 當起	
45年	井関 正雄	石田 二郎	浦上 衛門
	田中 茂美	富山 道三	松本 金吾
	三池 鎮浪	米田 正文	
46年	柳沢 米吉	富樫 凱一	真井 耕象
	松尾 春雄		
47年	安芸 敏一	篠原 武司	平井彌之助
48年	伊藤 信	大石 勇	大石 重成
	加藤 伴平	羽田 巖	
49年	伊藤 令二	飯吉 精一	石原藤次郎
	大林 勇治	叶 磯	今 俊三
	杉戸 清	樋浦 大三	

4. 名 誉 会 員

昭和 8年	古市 公威		
16年	野村龍太郎	古川阪次郎	田辺 朔郎
18年	丹羽 勤彦	名井 九介	那波 光雄
20年	真田 秀吉	岡野 昇	国沢新兵衛
21年	吉町太郎一	牧 彦七	生野 団六
25年	安芸 杏一	前川 貫一	君島 八郎
	大河戸宗治	青山 士	八田 嘉明
26年	Gail A. Hathaway	島 重治	松島寛三郎
	久保田敬一		
27年	草間 偉	丹治 経三	
28年	John L. Savage	鶴見 一之	
29年	黒河内四郎	辰馬 鎌蔵	米元 晋一
31年	谷口 三郎	島崎 孝彦	
32年	平井喜久松	永井 専三	小野 諒兄
33年	福留 並喜	橋本 敬之	牧野雅楽之丞
	田中 豊		
34年	鈴木 雅次	吉田徳次郎	平山復二郎
	黒田 武定	堀越 清六	高西 敬義
35年	池田 嘉六	菊池 英彦	齊藤 静脩
	田井 九一	高橋 甚也	永田 民也
	村山喜一郎	山田 隆二	
36年	内田 黍郎	内海 清温	近藤 博夫
	田淵 寿郎	萩原 俊一	花井又太郎
	原口忠次郎	藤井 真透	山崎 匡輔
37年	池辺 稲生	岩崎 雄治	小野 基樹
	大蔵 公望	寛 斌治	金子源一郎
	佐藤忠三郎	高橋 三郎	中村 廉次
	三輪 周蔵		
38年	阿部 一郎	青木 楠男	岩沢 忠恭

5. 各種講演会、講習会、シンポジウム開催 一覧ならびに映画コンクール入賞作品

5.1 年次学術講演会

回	開催期日	場 所	一般講演数	参加数	その他の講演
1	12. 4.10~11	京 都 大 学	93	860	
2	13. 7.16~17	北 海 道 大 学	86	600	
3	16.10.31~11.1	九 州 大 学	91	500	
4	17.10.10~11	東 北 大 学	49	500	
5	24. 5.21~22	名古屋工業大学	107	500	
6	25. 5.27~28	東 京 大 学	111	300	
7	26. 5.26~27	大 阪 大 学	147	600	
8	27. 5.24~25	早 稲 田 大 学	111	250	
9	28. 5.23~24	東 北 大 学	143	420	
10	29. 5.29~30	早 稲 田 大 学	143	500	
11	30. 5.28~29	福岡市電気ホール、九州大学	183	600	

回	開催期日	場 所	一般講演数	参加数	その他の講演
12	昭 32. 6. 1~2	北海道大学	195	1,500	
13	33. 5. 24~25	早稲田大学	195	1,500	
14	34. 6. 13~14	広島大学	235	1,300	
15	35. 5. 28~29	早稲田大学	221	1,500	総合 6 題
16	36. 5. 27~28	名古屋工業大学	172	1,690	" 9 題
17	37. 5. 27~28	早稲田大学	288	2,200	" 7 題
18	38. 5. 25~26	京都大学	347	1,600	" 6 題
19	39. 5. 30~31	東北大学	393	3,500	" 5 題
20	40. 5. 29~30	九州大学	452	2,700	" 5 題

回	開催期日	場 所	一般講演数	参加数	その他の講演
21	昭 41. 5. 28~29	北海道大学	606	2,740	総合 3 題
22	42. 5. 27~28	広島大学	728	3,230	総合 3 題
23	43. 10. 11~15	名古屋大学	779	3,575	特別 3 題 部門 4 題
24	44. 9. 26~30	日本都市センタ ーほか(東京)	598	2,445	特別 3 題 部門 4 題
25	45. 11. 6~9	日本生命ほか (大阪)	785	3,191	特別 3 題 合同部門 3 題
26	46. 10. 1~3	東北工業大学	849	3,575	特別 3 題 各部門別 10 題
27	47. 10. 20~22	九州大学	1,026	3,800	特別 3 題 各部門別 8 題
28	48. 10. 1~3	北海道大学	1,029	4,100	特別 3 題 各部門別 7 題
29	49. 10. 8~10	広島工業大学	1,165	5,350	特別 3 題 各部門別 8 題

5.2 夏期講習会

回	開催期日	場 所	題 目	講演数	参加数
1	昭 23. 8. 16~21	東京大学	土木における災害と対策	不明	不明
2	24. 7. 25~27	"	コンクリート標準示方書	"	400
3	24. 12. 19~21	"	水理公式集	"	300
4	25. 4. 16	"	測 量	"	400
5	25. 8. 24~26	"	土質工学	11	470
6	26. 8. 23~25	"	コンクリートとダム、橋梁	11	495
7	27. 8. 20~22	"	建設機械化	6	516
8	28. 8. 26~28	"	プレストレストコンクリートと構造力学	12	573
9	29. 8. 25~27	"	新材料と新工法	6	575
10	30. 8. 17~19	"	鋼橋示方書と P C 指針	11	586
11	31. 8. 22~24	早稲田大学	災害とその対策	14	401
12	32. 8. 28~29	"	改訂水理公式集、海岸保全施設設計便覧 ダム基準	14	512
13	33. 8. 27~28	"	新しい建設工法	11	729
14	34. 8. 27~28	日本大学	トンネルと掘削工法	12	755
15	35. 8. 25~27	共済会館	最近の道路問題と高速道路	12	569
16	36. 8. 23~24	"	昭和36年度改訂土木学会プレストレストコンクリート設計施工指針		
			最近におけるプレストレストコンクリート	12	1,064
17	37. 8. 30~31	厚生年金会館	最近の基礎工法	10	930
18	38. 8. 22~23	豊島公会堂	最近の水工学について 一改訂水理公式集を中心にして一	14	626
19	39. 8. 27~28	"	トンネル標準示方書の制定と最近のトンネル工学	6	1,600
20	40. 8. 26~27	"	構造工学に於ける最近の諸問題	12	870
21	41. 8. 25~26	杉並公会堂	土木工学における振動と耐震の諸問題	12	602
22	42. 8. 3~4	厚生年金会館ホール	コンクリート標準示方書の改訂	12	1,052
23	43. 8. 8~9	朝日生命ホール	建設技術者のための測定法	11	351
24	44. 8. 7~8	杉並公会堂	海岸保全施設と設計	8	453
25	45. 8. 20~21	"	土木工事の積算	9	754
26	46. 9. 16~17	"	土木技術者のための法律講座	13	375
27	47. 8. 30~31	厚生年金会館小ホール	市街地土木工事の仮設と安全対策	12	551
28	48. 9. 6~7	"	基礎と地盤	10	598
29	49. 9. 12~13	九段会館ホール	コンクリート標準示方書の改訂	16	1,209

5.3 土木計画学講習会

回	開催期日	場 所	題 目	講演数	参加人員
1	43. 8. 26～27	大阪科学技術センター(大阪)	土木計画学の手法について	6	141
	8. 29～30	土木図書館講堂(東京)	"	6	168
2	44. 8. 28～29	"	調査計画と計画手法	5	115
	9. 4～5	大阪科学技術センター(大阪)	"	5	106
3	45. 7. 24～25	土木図書館講堂(東京)	計画と管理の手法	6	204
	7. 31～8.1	建設会館(札幌)	"	6	162
4	46. 8. 19～20	土木図書館講堂(東京)	最適化手法とその土木計画への具体的な応用例	5	155
	8. 26～27	九州大学(博多)	"	5	80
5	47. 9. 4～5	土木図書館講堂(東京)	費用便益分析の手法	6	141
	9. 11～12	大阪科学技術センター(大阪)	"	6	133
6	48. 8. 21～22	土木図書館講堂(東京)	施工の計画・管理に対する科学的接近	6	157
	8. 29～30	中区役所ホール(名古屋)	"	6	312
	8. 30～31	中国電力総会場(広島)	"	6	203
7	49. 9. 3～4	土木図書館講堂(東京)	土木計画における情報処理	8	114
	9. 4～5	大阪科学技術センター(大阪)	"	8	83

5.4 土木計画学シンポジウム

回	開催期日	場 所	題 目	講演数	参加数
1	42. 1. 31	土木図書館講堂	総論, 各論(土木計画手法, 総合計画, 産業開発と社会開発, 交通計画等)	19	230
2	42. 11. 21～22	銀座ガスホール	需要予測と計画目標設定の問題, ほか	11	250
3	44. 1. 28～29	土木図書館講堂	土木計画の考え方, ほか	10	150
4	45. 2. 7	"	システムフローとしての土木計画	1	157
5	46. 1. 29	"	土木計画の評価システム	1	156
6	47. 1. 25～26	"	同上(その2), 評価のための分析モデル	1	130
7	48. 1. 24～25	"	環境問題と土木計画学(土木計画における環境調査の方法)	1	213
8	49. 1. 24～25	"	" (環境ととらえ方と評価)	1	176
9	50. 1. 24～25	"	代替案評価の理論と実際	1	233

5.5 高校土木科教職員を対象とする夏期講習会

回	開催期日	場 所	題 目	参加数
1	42. 8. 2～4	東京都	光弾性実験の原理と実際	87名
2	43. 8. 2～4	京都市	光弾性実験の原理と実際	85名
3	44. 8. 3～5	東京都	コンクリートの品質管理	102名
4	45. 7. 28～30	広島市	最近の施工管理の傾向について	99名
5	46. 8. 2～4	東京都	工事計画と施工管理	124名
6	47. 8. 2～4	大阪市	土木工事の積算について	83名
7	48. 7. 30～8.1	仙台市	土木工事の積算について	146名
8	49. 8. 5～7	大阪市	最近の土質工学について	127名

5.6 その他の講習会

開催期日	場 所	題 目	講演数	参加人員
40. 10. 18~19	発明会館ホール(東京)	耐震設計講習会	10題	350名
41. 6. 28	大和証券ホール(東京)	長径間吊橋の耐風設計に関する講習会	8	253
41. 11. 17~18	虎ノ門共済会館(東京)	土木技術者のための岩盤力学講習会	11	250
43. 7. 16	大和証券ホール(東京)	応答を考慮した長大橋の耐震設計に関する講習会	9	320
45. 12. 5	土木図書館講堂(東京)	鋼鉄道橋設計示方書改訂に伴う講習会	5	173
47. 2. 9~10	千代田公会堂(東京)	水理公式集改訂に伴う講習会	18	345
47. 2. 21~22	京都産業会館シルクホール(京都)	"	18	341
47. 6. 27	発明会館ホール(東京)	ダム基礎岩盤のグラウチング施工指針講習会	6	319
47. 11. 15	ヤマハホール(東京)	太径PC杭設計施工指針講習会	7	530
48. 2. 6~7	第一生命ホール(東京)	地震応答解析と実例講習会	15	439
48. 9. 13	ニッショーホール(東京)	海洋鋼構造物設計指針(案)解説講習会	8	324
49. 2. 18	土木図書館講堂(東京)	土木技術者のための下水道講習会	8	154

5.7 海岸工学講演会

回	開催期日	場 所	講演数	参加数
1	29. 11. 20~21	神戸市真珠会館	16	290
2	30. 11. 21~22	運輸省大講堂	19	200
3	31. 11. 21~22	神戸商工会議所	26	400
4	32. 11. 25~26	名古屋市長交會館	23	300
5	33. 11. 21~22	横浜市海員会館	25	291
6	34. 11. 6~7	新潟市大和デパート	22	240
7	35. 11. 10~12	大阪商工会館	34	300
8	36. 9. 14~15	札幌商工会館	35	200
9	37. 10. 16~17	都民ホール	31	150
10	38. 10. 22~23	大阪科学技術センター	32	400
11	39. 11. 25~26	大分農業会館	42	340
12	40. 11. 18~19	愛知県中小企業センター	39	230
13	41. 12. 5~6	宮城県民会館	32	280
14	42. 10. 19~20	神奈川県薬業会館	51	320
15	43. 12. 5~6	福岡市民会館	57	240
16	44. 12. 11~12	大阪科学技術センター	55	230
17	45. 11. 26~28	新潟県民会館・新潟県建設会館	65	300
18	46. 10. 28~29	札幌自治会館	73	260
19	47. 11. 13~14	日消ホール・発明会館ホール	73	300
20	48. 11. 14~16	愛知県産業貿易会館 愛知県婦人文化会館	93	350
21	49. 11. 14~16	仙台市市民会館	83	287

5.8 海岸工学関係シンポジウム

回	開催期日	場 所	テ ー マ	参加数
1	46. 10. 30	札幌自治会館	漂 砂	120
2	47. 11. 15	土木図書館講堂	波と構造物	150
3	48. 11. 16	愛知県産業貿易会館	海域汚染の調査と予測	180
4	49. 11. 16	仙台市市民会館	海岸侵食	100

5.9 水理講演会

回	開催期日	場 所	講演数	参加数
1	31. 5. 14~15	建設省土木研究所	22	不明
2	32. 5. 13	"	14	90
3	33. 5. 22	国鉄本社	20	150
4	34. 6. 12	広島県庁講堂	20	130
5	35. 5. 27	早稲田大学	18	160
6	36. 5. 26	名古屋市長交會館	16	130
7	37. 10. 15	都民ホール	10	130
8	38. 10. 21	大阪科学技術センター	15	150
9	40. 2. 12~13	土木図書館講堂	15	150
10	41. 2. 18~19	"	22	170
11	42. 2. 3~4	"	15	200
12	43. 2. 9~10	発明会館	23	300
13	44. 2. 7~8	"	21	250
14	45. 2. 13~14	"	16	220
15	46. 2. 12~13	"	9	220
16	47. 2. 18~19	"	25	250
17	48. 2. 16~17	"	19	240
18	49. 2. 15~16	"	40	200
19	50. 2. 7~8	"	33	230

5.10 水工学夏期研修会

回	開催期日	場 所	コ ー ス 名	講演数	参加数
1	39. 7. 20~7.25	京都大学	A. ダム・河川	5	72
	39. 7. 27~8. 1	"	B. 海岸・港湾	3	42
2	40. 8. 2~8. 7	北海道大学	A. ダム・河川	10	99
	40. 8. 9~8.14	"	B. 海岸・港湾	10	79
3	41. 8. 1~8. 6	土木図書館	A. ダム・河川	13	110
	41. 8. 8~8.13	講堂	B. 海岸・港湾	13	68
4	42. 7. 26~7.29	愛知県建設	A. ダム・河川	6	125
	42. 7. 31~8. 3	業会館	B. 海岸・港湾	7	115

回	開催期日	場 所	コ ー ス 名	講演数	参加数
5	43.7.31~8.3	九州大学	A.海岸・港湾	8	86
	43.8.5~8.8		B.ダム・河川	7	
6	45.7.29~8.1	東北大学	A.海岸・港湾	9	141
	45.8.3~8.6		B.ダム・河川	10	
7	46.7.21~7.24	中国電力総 会室	A.ダム・河川	10	126
	46.7.26~7.29		B.海岸・港湾	10	
8	47.7.26~7.29	土木図書館 講堂	A.ダム・河川	12	166
	47.7.31~8.3		B.海岸・港湾	10	
9	48.7.25~7.28	大阪大学	A.ダム・河川	8	122
	48.7.30~8.2		B.海岸・港湾	10	
10	49.7.31~8.3	徳島大学	A.ダム・河川	11	152
	49.8.5~8.8		B.海岸・港湾	11	

5.11 地震工学研究発表会

回	開催期日	場 所	講演数	参加数
1	32.9.10~11	土木学会会議室	24	168
2	33.9.9~10	"	21	143
3	34.9.17~18	"	29	148
4	35.11.7~8	"	10	80
5	36.10.16~17	"	22	70
6	38.10.21~22	"	19	160
7	39.10.5~6	"	19	210
8	40.10.20~21	土木図書館講堂	23	210
9	42.10.25~26	"	28	110
10	44.7.15~16	"	32	200
11	46.7.20~21	"	36	240
12	47.7.18~19	"	33	210
13	49.7.16~17	"	40	210

注：講演数には特別講演数も含まれている。

5.12 トンネル工学に関するシンポジウム

回	開催期日	場 所	講演数	参加数	備 考
1	37.6.21	私学会館	6	515	
※2	39.8.27~28	豊島公会堂	6	1,600	※夏期講習会として開催
3	41.11.29~30	私学会館	12	542	
4	43.6.17~18	"	15	502	
5	44.11.26~27	社会文化会館	16	656	
※6	45.9.14~16	東京文化会館	14 (内日本8) パネル討 論 1	日本人605 外国人 48	※国際シン ポジウム として開催
7	48.11.29~30	ニッショーホール	12	400	

5.13 岩盤力学に関するシンポジウム

回	開催期日	場 所	講演数	参加数
1	37.11.29~30	電力中央研究所	12	不明
2	38.11.21~22	"	13	250
3	40.11.15~16	土木図書館講堂	14	200
4	41.11.16	"	12	130
5	44.2.27~28	"	18	130
6	45.2.5~6	"	18	180
7	47.2.24~25	"	21	190
8	48.2.21~22	"	19	140
9	50.2.19~20	"	27	240

注：講演数には特別講演数も含まれている。

5.14 衛生工学研究討論会

回	開催期日	場 所	講演数	参加数
1	39.12.5	日本都市センター	8	120
2	40.11.7	京都大学電気総合会館ホール	11	200
3	41.11.22	土木図書館講堂	13	150
4	42.9.2~3	北海道大学	21	130
5	44.1.31~2.1	土木図書館講堂	19	200
6	45.1.30~31	"	16	200
7	46.1.30~31	九州大学	16	100
8	47.1.28~29	土木図書館講堂	13	180
9	48.1.29~30	東北大学	25	200
10	49.1.28~29	土木図書館講堂	19	250
11	50.1.27~28	大阪科学技術センター	17	200

5.15 海洋開発シンポジウム

回	開催期日	場 所	講演数	参加数
1	45.4.18	土木図書館講堂	5	200
2	46.4.17	"	5	150
3	47.5.20	"	7	220
4	48.5.12	"	10	150
5	49.6.15	"	9	150

5.16 環境問題シンポジウム

回	開催期日	場 所	講演数	参加数
1	48.12.3~4	土木図書館講堂	12	130
2	49.8.29~30	"	9	130

5.17 土木学会映画コンクール

(旧称 国土開発映画コンクール)

◎応募数

回数(昭和年)	1(39)	2(41)	3(43)	4(45)	5(47)	6(49)
応募本数	32	46	52	62	75	89

◎入賞作品

第 1 回 (昭和39年)

賞 名	題 目	企 画	製 作
最 優 秀 賞	銀座の地下を掘る	帝都高速度交通営団	日本映画新社
優 秀 賞	羽田海底トンネル	首都高速道路公団	理研科学映画社
"	横山ダム工事	建設省中部地方建設局	CBCテレビ社
準 優 秀 賞	大阪環状線—西成編	日本国有鉄道大阪工務局	日本映画新社
"	外洋にいどむ	鹿島建設株式会社	新島映画社
"	海を渡る砂	株式会社臨海土木工業所	新日放送映画社
佳 作	海へ伸びる大阪(建設編・第二部)	大阪府企業庁	毎日放送映画社
"	名神高速道路の舗装	日本舗道株式会社	日本舗道(株)

第 2 回 (昭和41年)

最 優 秀 賞	よみがえる川	群 馬 県	三井プロダクション
優 秀 賞	砂 防	平和国土計画会議	旭 映 画 社
"	高潮に挑む	建設省関東地方建設局	松崎プロダクション
準 優 秀 賞	海の新土	建設省中部地方建設局	CBCテレビ映画社
"	えい智の結晶	神奈川県企業局	神奈川ニュース映画社
"	第三の道路(第二部)	日本道路公団	電通映画社
佳 作	東京の地下に挑む	大成建設株式会社	日本映画新社
"	摩耶大橋	神戸市港湾局	日本シネセル社

第 3 回 (昭和43年)

最 優 秀 賞	礎(いしづえ)	東京電力株式会社	岩波映画製作所
優 秀 賞	青函トンネル(第一部)	日本鉄道建設公団	理 研 映 画 社
"	利根川河口堰	水資源開発公団	松崎プロダクション
準 優 秀 賞	梓川開発の記録	鹿島建設株式会社	日本技術映画社
"	江東の地下を掘る —東西線シールド工事記録—	帝都高速度交通営団	日本シネセル社
"	尾道大橋	日本道路公団	山陽映画社
佳 作	五霞村引堤工事	建設省関東地方建設局	松崎プロダクション
"	PIPくい工法	清水建設株式会社	岩波映画製作所

第 4 回 (昭和45年)

最 優 秀 賞	東名高速道路	日本道路公団	日本映画新社
優 秀 賞	北上川	建設省東北地方建設局	松崎プロダクション
"	くっさく	帝都高速度交通営団	日本映画新社
準 優 秀 賞	蛇紋岩トンネル掘さくの記録	日本鉄道建設公団札幌支社	北海道放送映画社
"	青函トンネル(第二部)	日本鉄道建設公団	理 研 映 画 社
"	多摩川をわたる沈埋トンネル	日本鉄道建設公団東京支社	日本映画新社
佳 作	近代化ヤードの誕生	国鉄盛岡工務局	理 研 映 画 社
"	地すべり	建設省近畿地方建設局	日本映画新社
"	本牧ふ頭(第三部)	運輸省第二港湾建設局	理 研 映 画 社

第 5 回 (昭和47年)

最 優 秀 賞	松原・下笠ダム建設記録 総集編	建設省九州地方建設局	松崎プロダクション
優 秀 賞	みんなの下水道	大阪府土木部	NET朝日制作(株)
"	土石流	建設省北陸地方建設局	松崎プロダクション
準 優 秀 賞	水道橋架道橋拡幅	国鉄東京第三工務局	理研科学映画社
"	新しい水底トンネル —多摩川沈埋函工事記録—	鹿島建設株式会社	鹿島映画社
"	主 塔	石川島播磨重工業株式会社	鹿島映画社
佳 作	名古屋港金城埠頭建設記録(第二部)	運輸省第五港湾建設局	理 研 映 画 社
"	新全断面掘削工法	前田建設工業株式会社	日本シネセル社
"	マックス工法	西松建設株式会社	総合映画製作所

第 6 回 (昭和49年)

	題 目	企 画	製 作
最 優 秀 賞	関 門 橋	日 本 道 路 公 団	R K B 映 画 社
優 秀 賞	渡 良 瀬 遊 水 池	建 設 省 関 東 地 方 建 設 局	松 崎 プ ロ ダ ク シ ョ ン
"	波 と 闘 う 人 々	建 設 省 中 国 地 方 建 設 局	中 国 建 設 弘 済 会
準 優 秀 賞	東 京 港 海 底 ト ン ネ ル	湾 岸 線 沈 埋 工 事 共 同 企 業 体	鹿 島 映 画 社
"	本 四 架 橋 の 設 計 調 査	本 州 四 国 連 絡 橋 公 団	日 本 映 画 新 社
"	東 京 地 下 駅 の 建 設	国 鉄 東 京 第 一 工 事 局	理 研 科 学 映 画 社

6. その他の行事

本資料は、土木学会主催によるもので、昭和39年4月～昭和50年3月までのその他の行事をまとめたものである。

- 川俣アーチダムを語る座談会 40.3.6 ホテル・ニューオータニ
- アーサー・イツベン教授講演会 40.3.26 土木学会

(1) 講演会、発表会、シンポジウム、懇談会等

(昭和39年4月～昭和40年3月)

- 第1回理工学における同位元素研究発表会 39.4.21 東京大学
- 土木賞・吉田賞受賞者懇談会 39.5.29 仙台市セントラルホテル
- 第2回接着研究発表会 39.6.3~4 大阪科学技術センター
- コンクリート懇親会 39.6.6 土木学会
- 第1回土質化学に関する特別講演会 39.6.27 早稲田大学
- 新高地震座談会 39.7.1 ダイヤモンドホテル
- 東海道新幹線全線試乗座談会 39.8.16 運転列車中
- 第2回国際水質汚濁会議 39.8.24 日本都市センター
- ジョセフ・タローブル氏を囲む懇談会 39.8.31 国際文化会館
- 東海道新幹線と土木技術講演会 39.10.6 朝日講堂
- コンクリート関係国際連絡のための懇談会 39.10.20 土木学会
- 第3回宅地造成技術講習会 39.10.26~30 日本消防会館ホール
- 創立50周年記念式典 39.11.6 東京文化会館小ホール
- 創立50周年記念祝賀会 39.11.6 上野精養軒
- 創立50周年記念講演会 39.11.7 東京文化会館小ホール
- 学会の現状とその問題点座談会 39.11.16 レインボーホール
- 土木技術者の活躍と大学土木教育に関するシンポジウム 39.11.25 土木学会
- 創立50周年記念懸賞論文授賞式 39.11.27 土木学会
- 国土開発映画を語る座談会 39.12.7 レインボーホール
- アルミナセメントに関する懇話会 39.12.9 土木学会
- マウリチコ・ボラーツゴレ教授来会 40.1.8 ホテル・ニューオータニ
- 第3回原子力総会シンポジウム 40.2.15~16 学士会館

(2) 講演会、研究発表会、シンポジウム等

(昭和40年4月～昭和50年3月)

() 内 講演数、参加者数

- 40.4.23 第2回異形鉄筋に関するシンポジウム
日本化学会講堂 (19題, 250名)
- 40.10.6 国際水理学会出席者帰朝報告会
土木図書館講堂 (50名)
- 42.3.24 M. Abbott氏講演会
私学会館 (1題, 25名)
- 42.5.8 A.W. Rotz氏講演会
土木学会会議室 (1題, 26名)
- 42.5.17 コンクリート標準示方書改訂主旨説明会
東京都大和証券ホール (400名)
- 42.6.16 同 上 説 明 会
大阪市化学技術センター (400名)
- 42.6.24 同 上 説 明 会
福岡市町村会館 (342名)
- 42.7.21 同 上 説 明 会
札幌市日本生命ホール (243名)
- 43.6.14 第2回大学土木教育に関するシンポジウム
土木図書館講堂 (講演数: 8題,
パネル討論: 1題, 50名)
- 44.4.1 第2回構造用軽量骨材に関するシンポジウム
土木図書館講堂 (23題, 200名)
- 44.8.27 Rouse 教授特別講演会
土木図書館講堂 (1題, 40名)
- 45.6.4 タンセラン教授講演会
土木図書館講堂 (1題, 80名)
- 46.6.16 アルミナセメントコンクリートに関するシンポジウム
土木図書館講堂 (22題, 200名)
- 46.8.18 Weber氏特別講演会
土木図書館講堂 (1題, 100名)

- 46. 9. 22 「ヨーロッパにおける海洋レジャー施設について」講演会
土木図書館講堂（1題，50名）
- 47. 8. 24 膨張性セメント混和材を用いたコンクリートに関するシンポジウム
土木図書館講堂（24題，200名）
- 47. 9. 28 第1回土木製図の自動化に関するシンポジウム
大和証券ホール（13題，279名）
- 47. 11. 15 成層密度流の界面現象に関するシンポジウム
土木図書館講堂（5題，80名）
- 48. 6. 5~8 環境アセスメントセミナー
建設者大会議室（7題，154名）
- 48. 10. 18 ベトナム事情シンポジウム
土木図書館講堂（2題，29名）
- 48. 11. 15 ブラジル事情シンポジウム
土木図書館講堂（2題，48名）
- 48. 12. 13 イラン事情シンポジウム
土木図書館講堂（2題，25名）
- 49. 12. 4 講演会「期待される新交通システム」
土木図書館講堂（3題，
映画：5編，204名）
- 40. 12. 10 土木技術における研究のあり方（座談会）
土木図書館5号室（7名）
- 41. 5. 28 第52回通常総会に伴う懇親会
宮の森ガーデン（500名）
- 41. 5. 29 衛生工学懇親会
札幌市パークホテル（54名）
- 41. 6. 18 在日研修員のための「第1回土木学会のつどい」（海外連絡委員会）映画：3編
土木図書館講堂（12ヶ国17名）
- 41. 6. 25 コンクリート関係有志懇親会
土木図書館講堂（63名）
- 42. 5. 27 第53回通常総会に伴う懇親会
広島市羽田別荘（600名）
- 42. 7. 1 コンクリート関係有志懇親会
土木図書館5号室（47名）
- 42. 8. 9 欧米トンネル研修視察団結成会
土木図書館5号室（35名）
- 42. 9. 2 第4回衛生工学研究討論会に伴う懇親会
北海道大学（60名）
- 42. 10. 19 第14回海岸工学講演会に伴う懇親会
神奈川県薬業会館（90名）
- 42. 10. 25 第9回地震工学研究発表会に伴う懇親会
土木図書館5号室（20名）
- 42. 10. 31 欧米トンネル研修視察団米国チーム壮行会
土木図書館5号室（23名）
- 42. 12. 20 欧米トンネル研修視察団欧州チーム壮行会
土木図書館5号室（29名）
- 43. 1. 25 I. A. H. R総会，その他の報告会
土木図書館講堂（40名）
- 43. 5. 28 第54回通常総会に伴う懇親会
私学会館ホール（130名）
- 43. 6. 1 コンクリート関係有志懇親会
土木図書館5号室（46名）
- 43. 6. 18 第4回トンネル工学に関するシンポジウムに伴う懇親会
日本閣（28名）
- 43. 10. 12 土木学会昭和43年度全国大会に伴う懇親会
豊田ビルホール（500名）
- 44. 1. 31 第5回衛生工学研究討論会に伴う懇親会
土木図書館5号室（20名）
- 44. 5. 30 第55回通常総会に伴う懇親会
麴町会館ホール（106名）
- 44. 7. 15 第10回地震工学研究発表会に伴う懇親会
土木図書館5号室（10名）
- 44. 9. 27 昭和44年度全国大会に伴う懇親会
ホテルニュージャパン（210名）
- 44. 12. 11 第16回海岸工学講演会に伴う懇親会
大阪科学技術センター（55名）
- 45. 5. 29 第56回通常総会に伴う懇親会
麴町会館（107名）
- 45. 9. 14 第6回トンネル工学に関するシンポジウムに伴うレセプション
パレスホテル（209名）

(3) 懇親会，懇談会等

()内 参加者数

- 40. 5. 28 第51回通常総会における土木賞，吉田賞
受賞者懇談会 明治生命ホール（15名）
- 40. 5. 29 第51回通常総会に伴う懇親会
天神ビル大ホール（400名）
- 40. 5. 29 衛生工学関係者懇親会
博多バラダイス（59名）
- 40. 6. 18 新旧理事，監事引継ぎ懇親会
東京ステーションホテル（33名）
- 40. 7. 3 コンクリート有志懇親会
土木図書館5号室（33名）
- 40. 9. 13 フランス技術者の見た日本（座談会）
レインボーホール（7名）
- 40. 9. 21 国土改造計画を語る（座談会）
土木図書館5号室（11名）
- 40. 10. 20 第8回地震工学研究発表会に伴う懇親会
土木図書館5号室（17名）
- 40. 11. 7 第2回衛生工学研究討論会に伴う懇親会
京都大学ホール（45名）
- 40. 11. 8 開発／社会／自然（座談会）
土木図書館5号室（8名）
- 40. 11. 25 シールド工法の話題（座談会）
レインボーホール（10名）
- 40. 12. 6 国産コンクリート技術開発に関する懇談会
土木図書館3号室（8名）
- 40. 12. 7 P. C 工法に関する懇談会
丸の内ホテル（10名）

- 45. 11. 7 昭和45年度全国大会に伴う懇親会
新大阪ホテル (200名)
- 45. 11. 26 第17回海岸工学講演会に伴う懇親会
新潟県民会館 (78名)
- 46. 1. 30 第7回衛生工学研究討論会に伴う懇親会
九州大学 (51名)
- 46. 5. 28 第57回通常総会に伴う懇親会
私学会館 (120名)
- 46. 7. 20 第11回地震工学研究発表会に伴う懇親会
土木図書館5号室 (22名)
- 46. 10. 2 昭和46年度全国大会に伴う懇親会
仙台グランドホテル (356名)
- 46. 10. 28 第18回海岸工学講演会に伴う懇親会
札幌市自治会館 (57名)
- 47. 5. 30 第58回通常総会に伴う懇親会
私学会館 (120名)
- 47. 7. 18 第12回地震工学研究発表会に伴う懇親会
土木図書館5号室 (30名)
- 47. 10. 21 昭和47年度全国大会に伴う懇親会
西鉄グランドホテル (300名)
- 47. 11. 13 第19回海岸工学講演会に伴う懇親会
国立教育会館グリル (50名)
- 48. 2. 19 “地震応答解析と実例”出版に伴う懇親会
土木図書館5号室 (18名)
- 48. 5. 29 第59回通常総会に伴う懇親会
農協ホール (130名)
- 48. 10. 1 昭和48年度全国大会に伴う懇親会
サッポロビール園 (400名)
- 48. 11. 14 第20回海岸工学講演会に伴う懇親会
名古屋市共済会館 (53名)
- 49. 5. 22 第60回通常総会に伴う懇親会
私学会館ホール (130名)
- 49. 7. 16 第13回地震工学研究発表会に伴う懇親会
土木図書館5号室 (34名)
- 49. 10. 8 昭和49年度全国大会に伴う懇親会
羽田別荘 (400名)
- 49. 11. 14 第21回海岸工学講演会に伴う懇親会
宮城の荘 (58名)

7. 朝日文化賞受賞者（土木関係）

回（年）	受賞対象	代表者	回（年）	受賞対象	代表者
第13回 (昭和16年)	関門鉄道隧道の貫通	釘宮 馨	第33回 (昭和37年)	黒部川第四発電所の建設	野瀬 正儀
		有馬 宏			
		加納 俊二			
	水豊発電所の建設	久保田 豊	第35回 (昭和39年)	国鉄新幹線開発の技術グループ	島 秀雄
第32回 (昭和36年)	名古屋市の都市計画につくした功績	田淵 寿郎			

8. 各種委員会委員長一覧

本資料は、昭和50年3月現在活動を続けており、またこの10年間（昭和40年4月～昭和50年3月）活動を行ってきた委員会（委託研究委員会は除く）の委員長をリストアップしたものである。

総務経理部門

1 表彰委員会（毎年更新）

岡部 三郎（昭和40年度）、篠原 武司（昭和41年度）
富樫 凱一（昭和42年度）、石原藤次郎（昭和43年度）
柳沢 米吉（昭和44年度）、大石 重成（昭和45年度）

高野 務（昭和46年度）、岡本 舜三（昭和47年度）
飯田房太郎（昭和48年度）、瀧山 養（昭和49年度）

2 論文賞選考委員会（毎年更新）

板倉 誠（昭和40年度）、本間 仁（昭和41年度）
岡本 舜三（昭和42、43年度）、国分 正胤（昭和44年度）
伊藤 剛（昭和45年度）、小西 一郎（昭和46年度）
丸安 隆和（昭和47年度）、松本順一郎（昭和48年度）
岩崎 敏夫（昭和49年度）

3 吉田賞選考委員会（毎年更新） ※印 吉田賞委員会委員長

平山復二郎※（昭和36年度）、沼田 政矩※（昭和36年度）、
永田 年※（昭和37年度）、藤井松太郎※（昭和38年度）、
山本 三郎※（昭和39年度）、福田 武雄（昭和40年度）、
岡部 三郎（昭和41年度）、篠原 武司（昭和42年度）、
富樫 凱一（昭和43年度）、水野 高明（昭和44年度～昭和49年度～）

4 田中賞選考委員会

福田 武雄(41.6~43.5), 平井 敦(43.6~45.5),
友永 和夫(45.6~46.5), 奥村 敏恵(46.6~48.5),
村上 永一(48.6~50.5)

5 定款調査特別委員会

水越 達雄(48.11~)

6 表彰制度審議委員会

永田 年(40.4~40.7)

7 財政特別委員会

国分 正胤(44.11~45.11)

企画部門

8 企画委員会

仁杉 巖(44.1~46.3), 堀 武男(46.7~)

9 学術講演連絡委員会

林 泰造(37.4~41.5), 久保慶三郎(41.5~43.5),
嶋 祐之(43.5~46.5)

10 行事企画委員会

森 茂(46.7~49.5), 千秋 信一(49.6~)

編集出版部門

11 土木学会誌編集委員会

柴田 睦作(大 3 ~ 4), 那波 光雄(大 5 ~ 7),
安芸 杏一(# 8 ~ 10), 金森織太郎(# 11 ~ 13),
川口愛太郎(# 14 ~ 15), 黒河内四郎(昭 2 ~ 6),
草間 偉(昭 7 ~ 8), 田中 豊(9. ~ 10.2),
藤井 真透(10.3 ~ 11.4), 関 信雄(11.5 ~ 13.2),
山崎 匡輔(13.3 ~ 14.2), 広瀬孝六郎(14.3 ~ 17.2),
福田 武雄(17.3 ~ 19.3), 本間 仁(19.4 ~),
平井 敦(22. ~), 星埜 和(24.6 ~ 26.5),
本間 仁(26.6 ~ 28.5), 岡本 舜三(28.6 ~ 29.5),
最上 武雄(29.6 ~ 30.5), 星埜 和(30.6 ~ 30.12),
永川 一郎(31.1 ~ 33.5), 田原 保二(33.6 ~ 35.5),
斎藤 義治(35.6 ~ 37.5), 八十島義之助(37.6 ~ 40.5),
樋口 芳朗(40.6 ~ 41.5), 増岡 康治(41.6 ~ 43.5),
森 茂(43.6 ~ 45.5), 千秋 信一(45.6 ~ 47.5),
天野 光三(47.6 ~ 49.5), 高橋 裕(49.6 ~)

11-1 新聞編集委員会

委員長 奥田 教朝(21~24)

11-2 書評小委員会

高橋 裕(40.10~42.5), 新谷 洋二(42.6~43.5),
伊藤 学(43.6~44.5), 石原 研而(44.6~45.5),
塚山 隆一(45.6~46.5), 堀江 興(46.6~47.5),
鮎川 登(47.6~48.5), 西谷 隆亘(48.6~49.5),
塚山 隆一(49.6~)

12 論文集編集委員会

本間 仁(31.2 ~ 32.6), 友永 和夫(32.7 ~ 34.5),
最上 武雄(34.6 ~ 36.5), 丸安 隆和(36.6 ~ 38.5),
奥村 敏恵(38.6 ~ 40.5), 村上 永一(40.6 ~ 42.5),
西村 俊夫(42.6 ~ 43.5), 林 泰造(43.6 ~ 45.5),
前田 幸雄(45.6 ~ 47.5), 久野 悟郎(47.6 ~ 49.5),

佐武 正雄(49.6 ~)

12-1 欧文論文集編集小委員会

林 泰造(45.6 ~ 47.11)

13 編集企画委員会

星埜 和(30.10 ~ 31.3)

14 学会誌・論文集編集委員会連絡会

座長 前田 幸雄(45.6~47.6), 久野悟郎(47.6~49.6)

佐武 正雄(49.7~)

15 投稿の手引き特別小委員会

島田 静雄(45.9~46.6)

16 文献調査委員会

樋口 芳朗(33.6 ~ 35.5), 久野 悟郎(35.6 ~ 37.5),

千秋 信一(37.6 ~ 39.5), 高橋 裕(39.6 ~ 41.5),

松本 嘉司(41.6 ~ 43.5), 新谷 洋二(43.6 ~ 45.5),

小林 一輔(45.6 ~ 47.5), 伊藤 学(47.6 ~ 49.5),

日野 幹雄(49.6 ~)

16-1 図書館運営小委員会

園田 桂一(昭43.6~)

17 出版委員会

佐藤 寛政(35.12~37.5), 荒井 力(37.6~39.5),

森 茂(39.6~41.5), 春日屋伸昌(41.6~43.5),

国分 正胤(43.6~45.5), 長浜 正雄(45.6~47.5),

石川 豊(47.6~49.5), 丸安 隆和(49.6~)

18 日本土木史編集委員会

青木 楠男(37 ~)

19 土木工学叢書委員会(2回更新)

佐藤 寛政(24.8~35.12), 最上 武雄(40.5 ~)

20 土木製図委員会

福田 武雄(27.1~41.3), 菊池 洋一(41.4 ~)

21 わかり易い土木講座編集委員会

福田 武雄(40.4 ~)

22 土木年鑑編集委員会

八十島義之助(41.2~44.5), 春日屋伸昌(44.6~46.5)

23 土木用語委員会(昭和3年より5回設置)(※印土木用語辞典編集委員会委員長)

中山秀三郎(3.5 ~ 11.11), 中川 吉造(11.9~16.6),

福田 武雄(23.9~29.6), 片平 信貴※(30.5~38.2),

本間 仁※(38.3~38.7), 福田 武雄(38.8~44.2)

23-1 土木用語辞典小委員会

星埜 和(43.2~44.2)

24 土木工学ハンドブック編集委員会(昭和27年より3回設置)

福田 武雄(27.1~29.10), 福田 武雄(33.8~39.4),

八十島義之助(46.10 ~)

学術研究部門

25 コンクリート委員会

大河戸宗治(3.9~14.5), 吉田徳次郎(14.6~35.9),

国分 正胤(37.2 ~)

25-1 プレストレストコンクリート小委員会

吉田徳次郎(28.3~36.9), 国分 正胤(36.10 ~)

- 25-2** 終局強度設計小委員会
 国分 正胤(43.7~)
- 25-3** コンクリート用語小委員会
 西沢 紀昭(43.10~45.3)
- 26** 水理委員会
 鈴木 雅次(15.7~2010), 安藝 敏一(2110~3510),
 伊藤 剛(3510~38.5), 石原藤次郎(38.6~43.5),
 林 泰造(43.6~46.5), 吉川 秀夫(46.6~48.5),
 嶋 祐之(48.6~)
- 26-1** 水文学小委員会
 井口 昌平(39.6~44.4), 石原 安雄(44.5~)
- 26-2** 移動床流れの粗度と河床形状研究小委員会
 林 泰造(46.5~48.2)
- 26-3** 密度流研究小委員会
 岩崎 敏夫(47.6~49.5)
- 26-4** 水理公式集小委員会
 嶋 祐之(47.6~48.5), 千秋 信一(48.6~)
- 26-5** 確率統計水文学研究小委員会
 日野 幹雄(49.2~)
- 27** 水理公式集改訂委員会
 横田 周平(37.4~38.8), 吉川 秀夫(43.8~46.11)
- 28** 橋梁構造委員会
 福田 武雄(28.7~42.9), 平井 教(42.10~46.7)
- 29** 構造工学委員会
 平井 教(46.9~48.10), 国分 正胤(48.11~)
- 29-1** 橋梁年報編集小委員会
 平井 教(42.6~43.5), 田島 二郎(43.6~46.5),
 阿部 英彦(46.6~49.5), 関 淳(49.6~)
- 29-2** 耐風設計研究小委員会
 平井 教(43.1~48.11), 伊藤 学(48.12~)
- 29-3** 構造力学公式集編集委員会
 前田 幸雄(47.4~)
- 29-4** 構造物安全性研究小委員会
 小西 一郎(47.7~)
- 30** 鋼構造委員会
 友永 和夫(46.9~48.8), 小西 一郎(48.9~)
- 30-1** 鋼構造架設小委員会
 菊池 洋一(47.7~)
- 30-2** 鋼材規格小委員会
 奥村 敏恵(47.9~)
- 30-3** 鋼構造進歩調査小委員会
 小西 一郎(47.10~48.9), 田島 二郎(48.10~)
- 31** 海岸工学委員会
 本間 仁(30.4~44.5), 岩崎 敏夫(44.6~46.5),
 岩垣 雄一(46.5~48.5), 尾崎 晃(48.6~)
- 31-1** 編集小委員会
 本間 仁(38.3~44.5), 堀川 清司(44.6~48.5),
 服部昌太郎(48.6~)
- 31-2** 海岸保全施設設計便覧改訂小委員会
 久宝 保(43.5~44.7)
- 32** 耐震工学委員会
 沼田 政矩(30.10~35.7), 那須 信治(35.8~44.6),
 岡本 舜三(44.7~)
- 32-1** 土木振動学便覧編集小委員会
 大地 羊三(39.7~41.8)
- 33** 原子力土木技術委員会
 福田 武雄(32.4~37.3), 左合 正雄(37.4~45.6)
- 34** 原子力土木委員会
 永田 年(45.7~)
- 34-1** 原子力コンクリート部会
 国分 正胤(45.7~)
- 34-2** 立地部会
 松井 達夫(45.7~)
- 34-3** 廃棄物部会
 左合 正雄(45.7~)
- 34-4** 耐震部会
 岡本 舜三(45.7~)
- 35** トンネル工学委員会
 藤井松太郎(37.2~48.10), 比留間 豊(48.10~)
- 36** 衛生工学委員会
 広瀬孝六郎(37.12~39.11), 板倉 誠(39.11~44.3),
 寺島 重雄(44.4~46.4), 左合 正雄(46.5~48.4),
 岩井 重久(48.5~)
- 36-1** 環境問題小委員会
 松本順一郎(45.7~49.4), 川口 士郎(49.5~)
- 37** 岩盤力学委員会
 岡本 舜三(38.4~48.3), 水越 達雄(48.4~)
- 37-1** 土木技術者のための岩盤力学改訂小委員会
 岡本 舜三(46.5~)
- 37-2** 川俣アーチダム編集小委員会
 岡本 舜三(38.4~40.8)
- 38** 土木計画学研究委員会
 鈴木 雅次(41.8~46.5), 米谷 栄二(46.6~)
- 38-1** 土木計画学シリーズ編集小委員会
 長尾 義三(47.9~)
- 38-2** 土木計画学用語小委員会
 菅原 操(47.9~)
- 39** 海洋開発委員会
 本間 仁(44.6~)
- 40** 日本土木史研究委員会
 青木 楠男(48.11~)
- 41** 電算機利用委員会
 丸安 隆和(49.8~)
- 42** 新潟震災調査委員会
 岡本 舜三(39.7~41.6)
- 教育調査部門**
- 43** 高校土木教育研究委員会
 沼田 政矩(36.4~38.5), 福田 武雄(38.6~41.5),
 箭内 寛治(41.6~45.5), 山之内繁夫(46.6~48.5),
 花房 保(48.6~)

44 大学土木教育委員会

米屋 秀三(38.7~41.3), 林 泰造(41.4~43.9),
奥村 敏恵(43.10~)

45 視聴覚教育委員会

丸安 隆和(43.6~48.5), 鈴木 忠義(48.6~)

46 土木図書館運営委員会

米元 卓介(39.2~41.5), 森 茂(41.6~43.5)

行政調査部門

47 海外連絡委員会

伊藤 剛(40.6~42.6), 新井 義輔(42.6~44.8)

48 海外活動委員会

太田尾広治(44.8~47.7), 吉越 盛次(47.6~)

48-1 欧文年報編集小委員会

川村 光雄(44.10~46.8), 赤木 俊允(46.8~48.12),
赤塚 雄三(48.12~)

48-2 海外工事契約・仕様編集小委員会

吉越 盛次(48.11~49.11)

49 建設コンサルタント委員会

猪瀬 寧雄(45.5~49.5), 横田 周平(49.6~)

50 安全問題研究委員会

丸安 隆和(46.7~)

懇談会

51 電算機の利用に関する懇談会

座長 大地 羊三(44.7~49.9)

52 建設業に関する懇談会

座長 佐藤 寛政(45.1~48.5), 高野 務(48.6~)

53 総合開発懇談会

座長 八木義之助(45.8~49.5), 井上 孝(49.6~)

54 土木会館建設懇談会

座長 高野 務(46.7~)

55 水資源懇談会

座長 石原藤次郎(46.6~)

56 環境問題懇談会

座長 山本 三郎(48.5~)

57 バイブライズ懇談会

座長 奥村 敏恵(45.3~)

9. 土木学会基金一覧

受 入			基 金 名 称	受 入 額
年	月	日		
大正	4	3 24	故古市 公威博士 } 両氏, 記念基金	円 銭
			" 沖野 忠雄 "	15,600.00
"	8	4 26	" 白石 直治 "	3,000.00
"	9	5 11	" " "	10,350.00
"	8	12 19	" 山崎 敏次郎 "	1,560.00
"	9	6 3	" 広井 勇 " 土木賞牌基金	425.00
"	11	4 15	" 原田 貞介 " 記念基金	2,547.60
昭和	3	6 15	(同追加寄附)	192.77
大正	11	12 13	" 広井 勇 "	5,950.00
大正	11	12 26	" 小川 梅三郎 " 還暦記念基金	1,000.00
"	12	2 10	" 富田 保一郎 " 記念基金	500.00
"	13	4 14	" 石黒 五十二 "	6,027.00
"	13	7 18	" 近藤 虎五郎 "	3,615.33
"	14	4 10	" 中島 鋭治 "	3,000.00
"	14	4 20	" 坂田 貞明 "	1,045.85
"	14	9 15	" 岡崎 芳樹 "	1,680.00
昭和	6	12 26	" 太田 圓三 "	2,500.00
"	8	2 28	" 坂本 雅雄 "	500.00
"	8	5 1	" 川上 浩二郎 "	1,000.00
"	10	2 8	" 古市 公威 " 土木賞牌基金	500.00
"	10	7 30	" 米島 良亮 "	500.00
"	11	4 1	" 中山 秀三郎 "	500.00
"	11	4 1	" " " 記念基金	2,000.00
"	12	2 12	" 岡崎 文吉 "	1,000.00
"	14		" 野口 誠 "	1,000.00
"	16		" 物部 長穂 " 土木賞牌基金	600.00
"	17		" 中川 吉造 " 記念基金	3,000.00
"	35	7 16	" 黒河内 四郎 "	1,000.00
昭和	39	4 23	故藤井 真透博士 記念基金	100,000.00
"	39	6 3	" 真田 秀吉 "	} 700,000.00
"	39	6 3	" 谷口 三郎 工学士 "	
"	39	6 3	" 青山 士 "	
"	36	10	" 吉田 徳次郎 博士 "	19,700,560.00
"	41	6	" 田中 豊 "	10,462,500.00
"	26	6 5	日本放送電株株式会社	5,000,000.00
昭和	24		関西支部維持基金	15,000.00
			諸積立金	1,822,901.00
計				37,871,554.55